

足利市立小・中学校の再編に関する
市民アンケート調査結果

令和4(2022)年11月
足利市教育委員会

目次

1	調査の概要	3
	(1) 目的	
	(2) 調査期間	
	(3) 調査対象・方法	
	(4) 回収状況	
	(5) 報告書の見方	
2	調査結果	4
	(1) 回答者の属性	
	(2) 小・中学校の望ましい学校規模について	
	(3) 児童生徒にとって望ましい通学時間と通学方法について	
	(4) 小規模校と小・中学校の再編について	
	(5) 今後の学校教育について	
3	参考	38
	(1) アンケート調査票	

(1) 目的

本市教育委員会は、教育理念として定めた「目指すべき子ども像・求められる学校像」を実現するため、有識者で構成する足利市学校教育環境審議会（以下、「審議会」という。）に対し、令和3年2月に「学校教育環境の充実に向けて検討すべき事項」及び「学校再編に向けた学校の在り方」について諮問したところです。

この諮問を受け、審議会では答申に向けた審議を進めており、その参考資料とするため、足利市立小・中学校の再編に対する意識調査として、市民アンケート調査を実施したものです。

(2) 調査期間

令和4(2022)年9月1日(木)～9月14日(水)

(3) 調査対象・方法

区分		対象	配付数(人)		配布	回収
保護者	第1対象	児童生徒の保護者	小5保護者：1,007	2,168	学校を通じて配布	Webまたは学校を通じて回収
			中2保護者：1,161			
市民	第2対象	未就学児の保護者	無作為抽出：1,000	2,000	郵送	Webまたは郵送
	第3対象	満18歳以上の市民	無作為抽出：1,000			
合計				4,168		

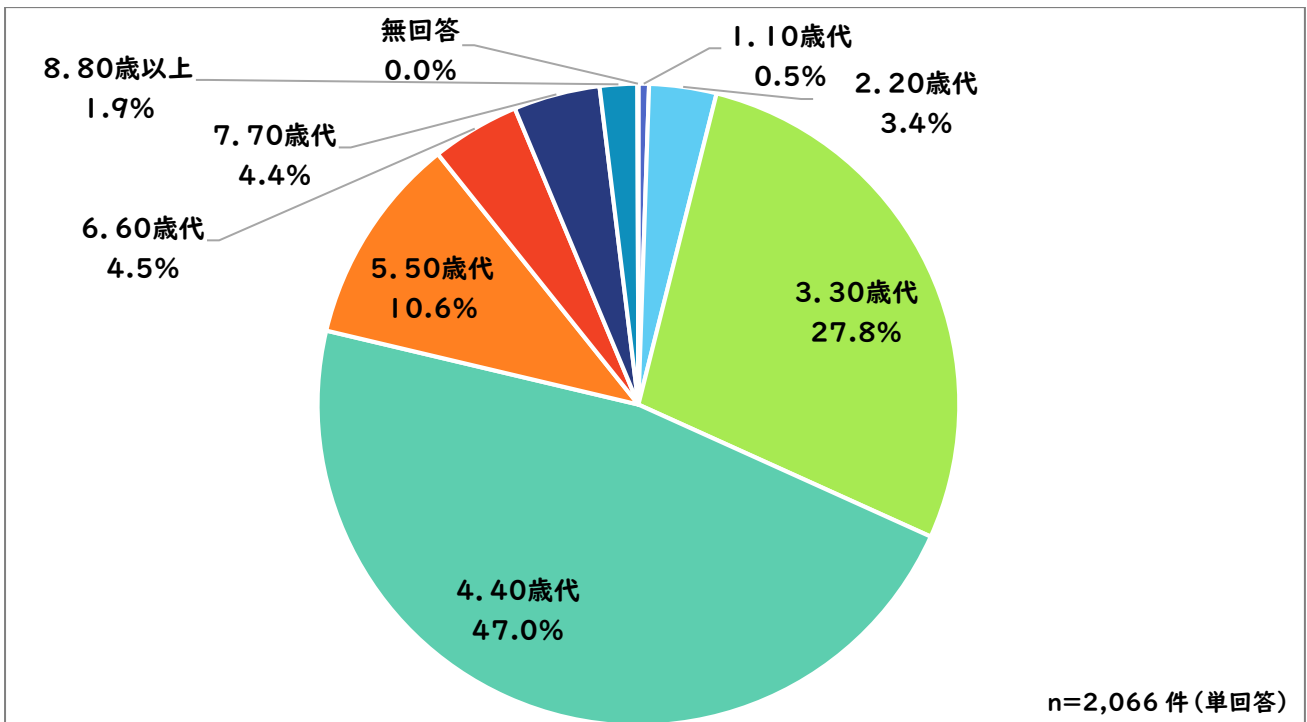
(4) 回収状況

区分		配布数	回収数	回収率
第1対象 (児童生徒の保護者)	小学校	1,007	706	70.1%
	中学校	1,161	570	49.1%
第2対象(未就学児の保護者)		1,000	428	42.8%
第3対象(満18歳以上の市民)		1,000	362	36.2%
合計		4,168	2,066	49.6%

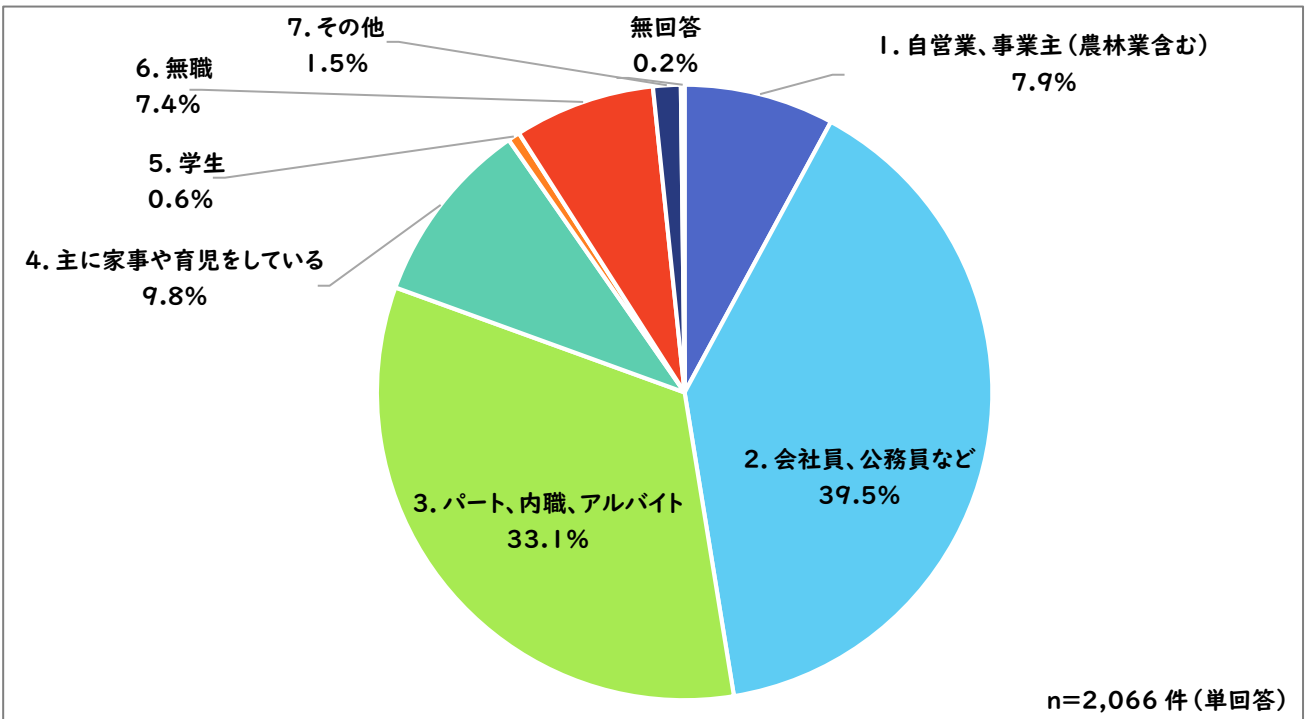
(5) 報告書の見方

- 集計結果を表すグラフでは、数値の小数点第2位を四捨五入して表示しているため、表記上、内訳数値の合計が100%にならない場合があります。
- 本文中の「n」は、設問に対する回答者数です。
- 選択肢から複数回答する設問は、回答者数に加え、選択された回答数の合計を「件数」で表しています。例) 問4 n=2,066(複数回答) 3,146件

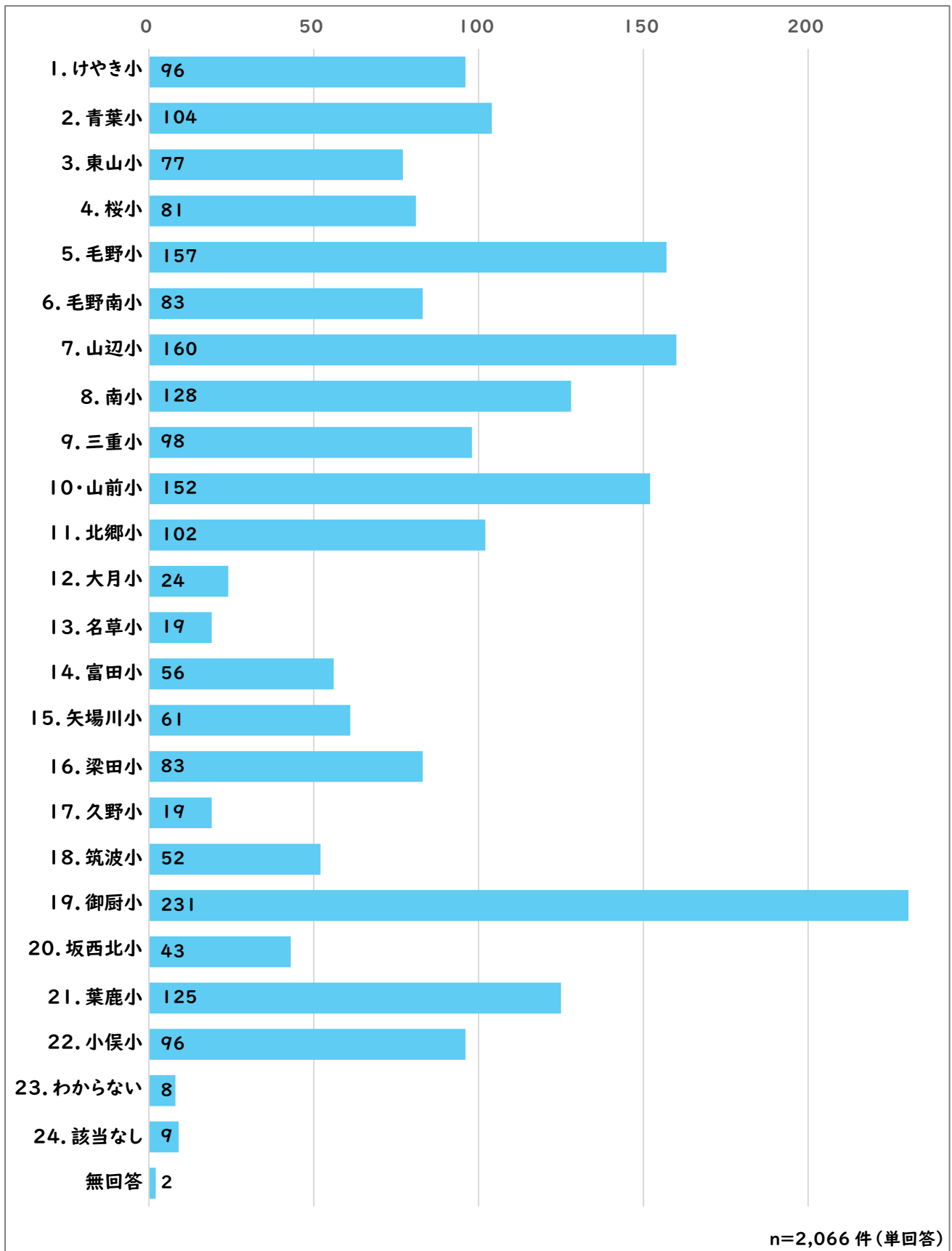
問1 あなたの年齢について教えてください。(1つを選択)



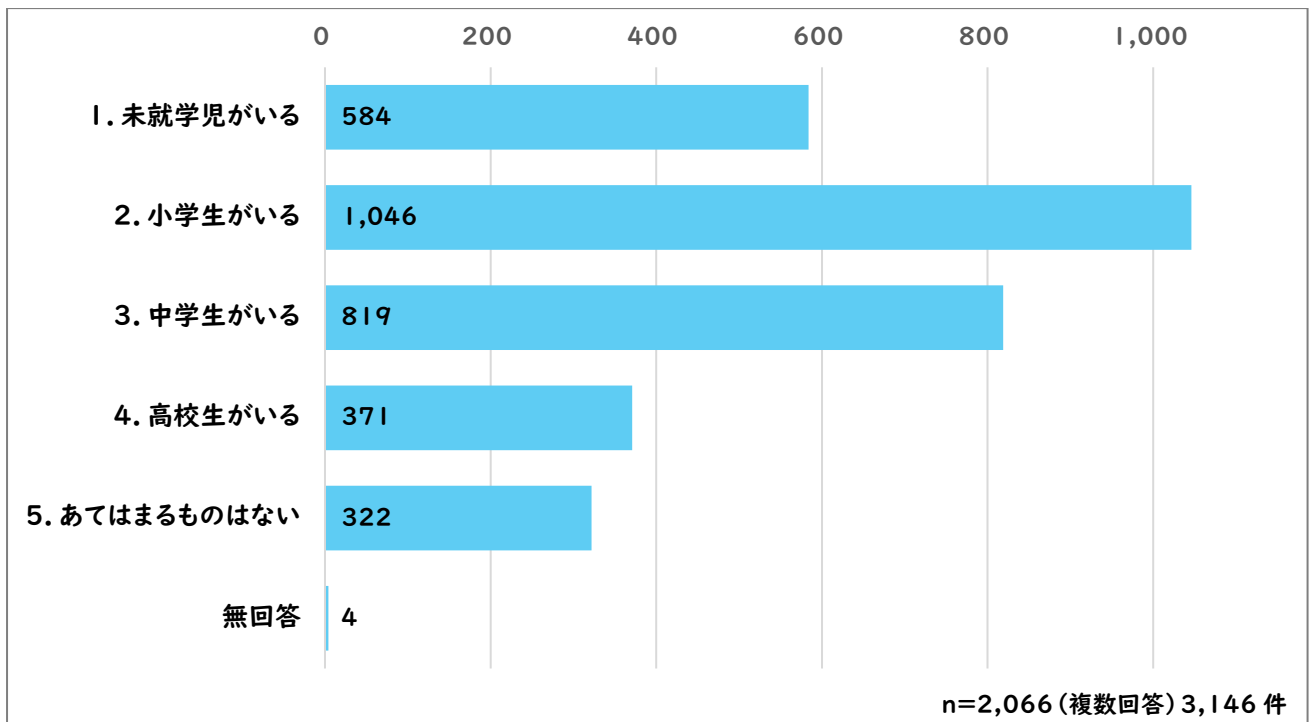
問2 あなたの職業について教えてください。(1つを選択)



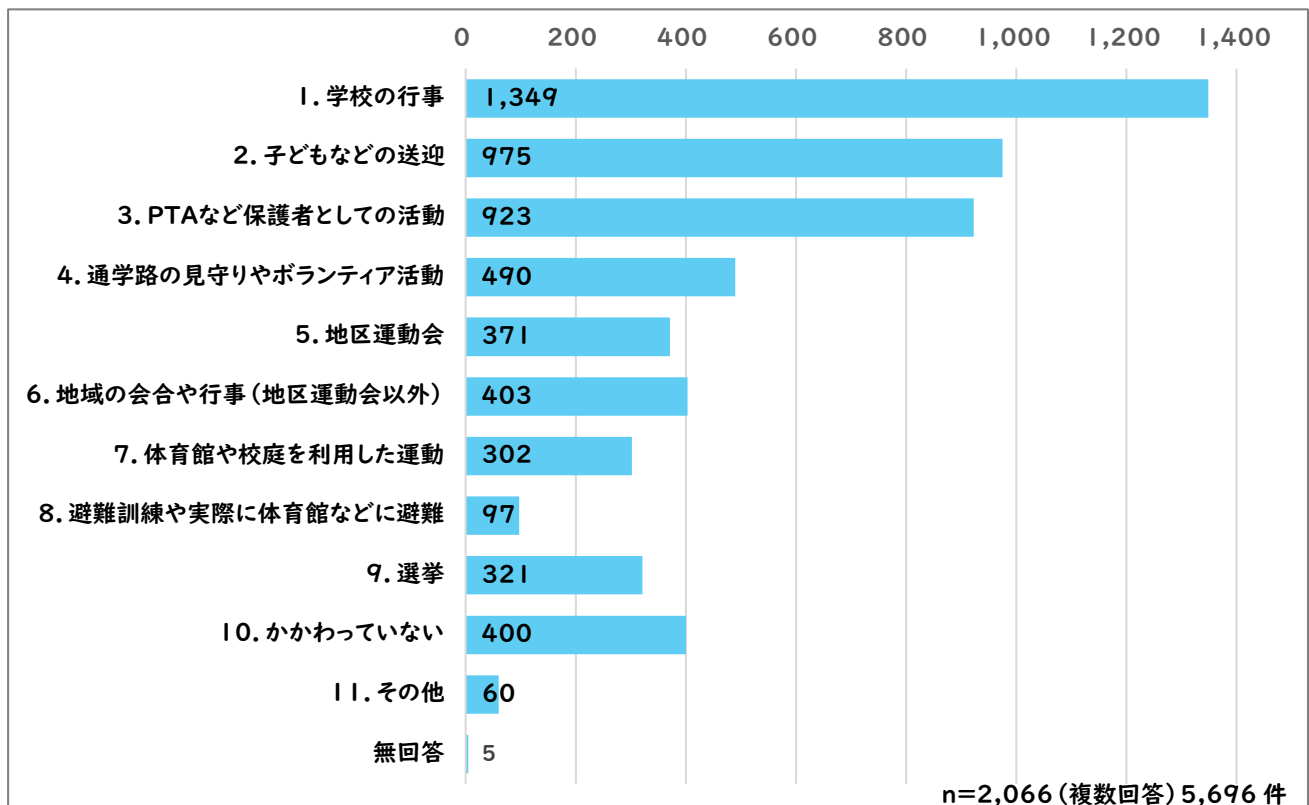
問3 あなたがお住まいの小学校区を教えてください。(1つを選択)



問4 あなたの同居する家族について教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

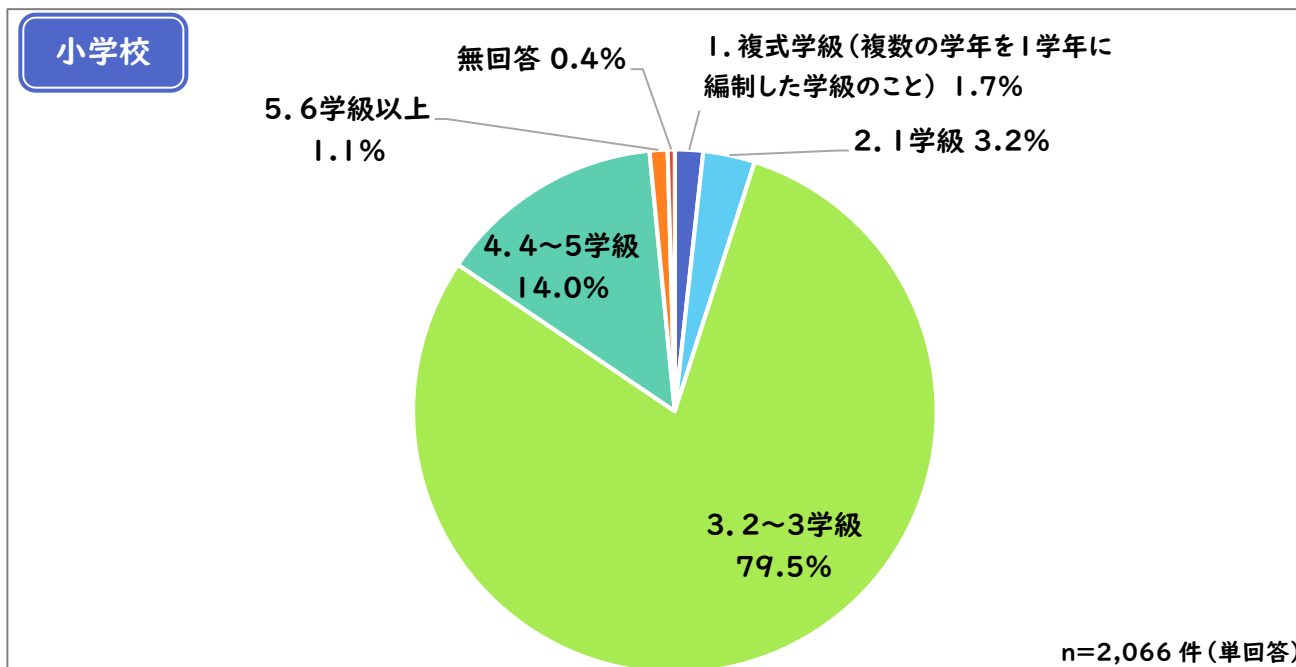


問5 近年、あなたのお住まいの学区の小学校や中学校と、どのような目的でかかりましたか。(あてはまるものすべてを選択)

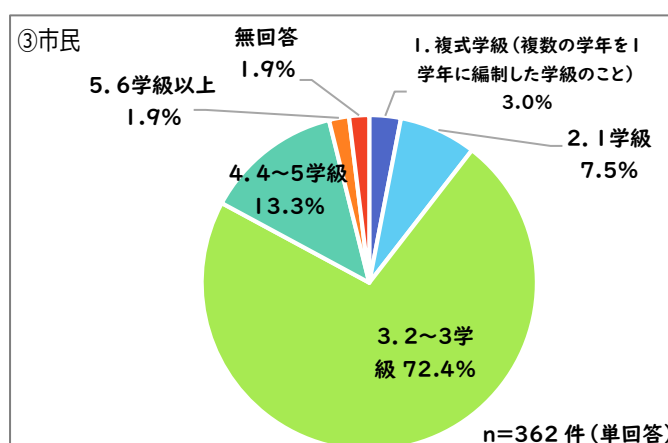
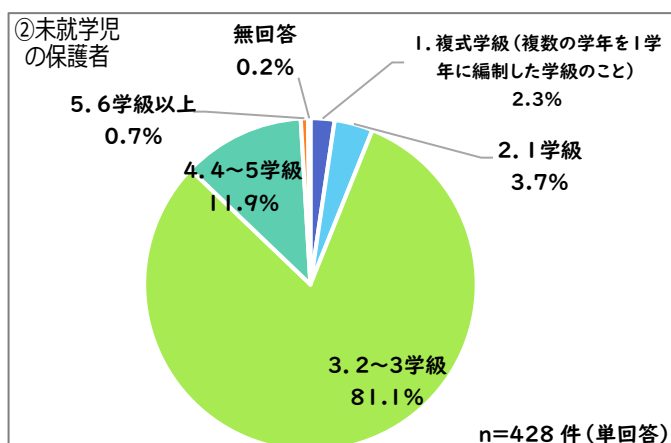
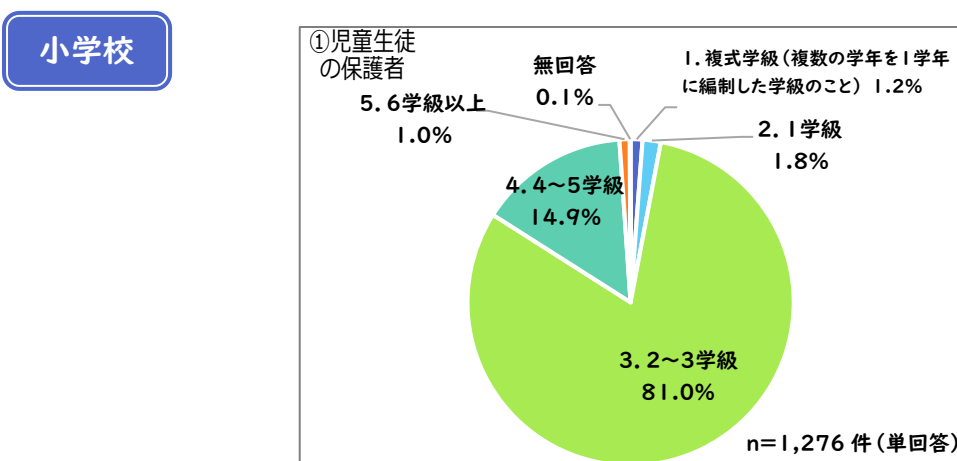


問6 小学校児童のよりよい教育環境のために、小学校では、1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(1つを選択)

① 全体(小学校に関する質問)

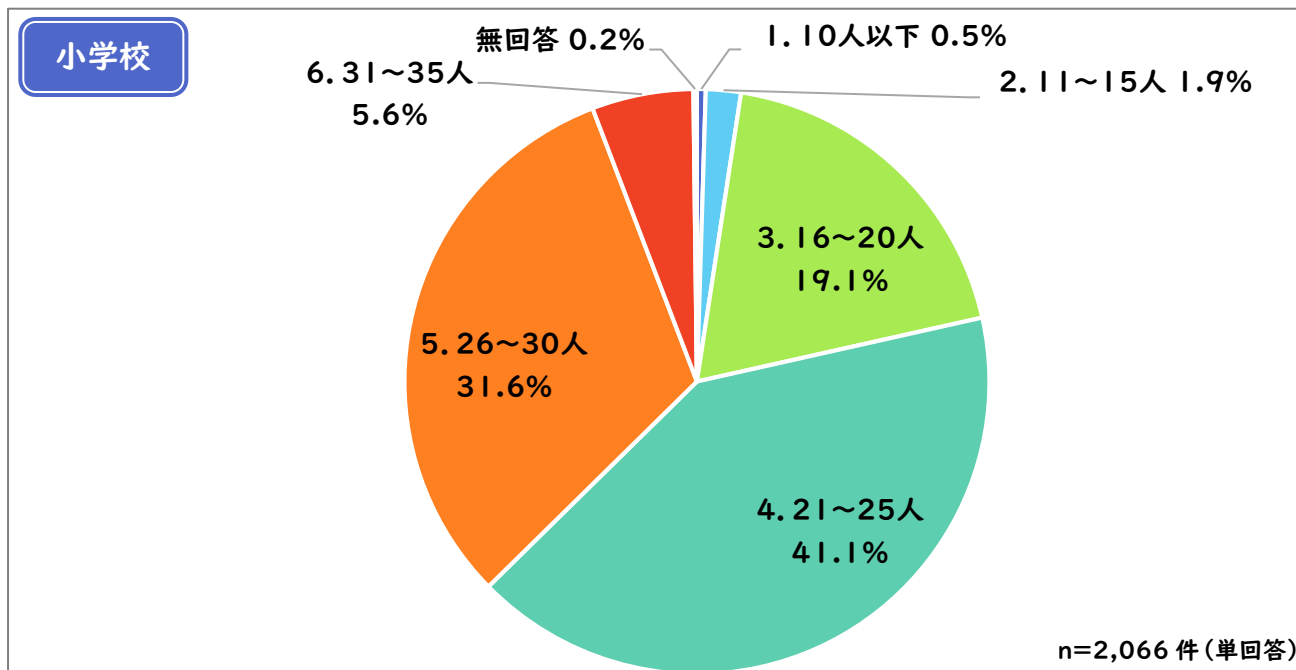


② 対象別(小学校に関する質問)

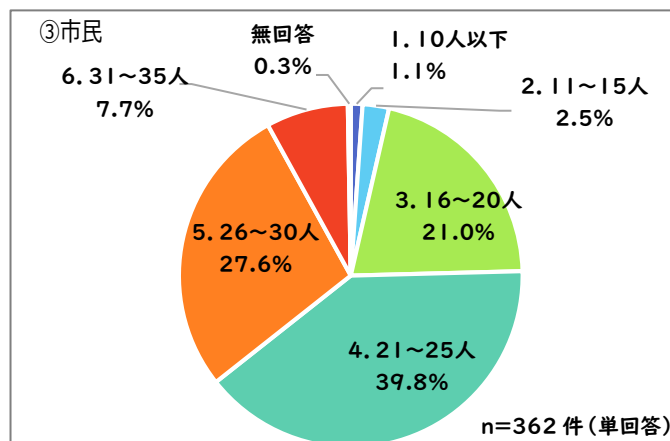
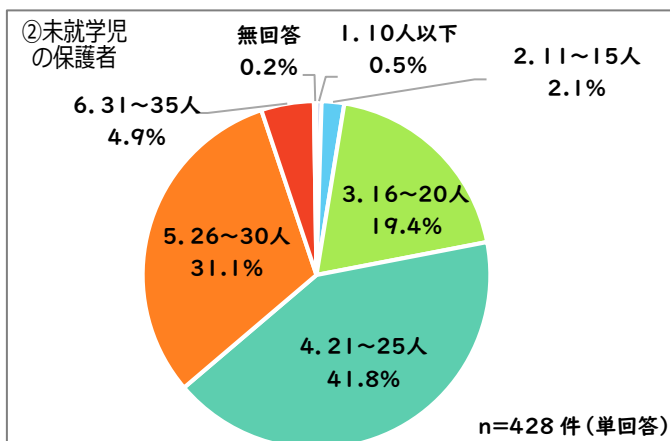
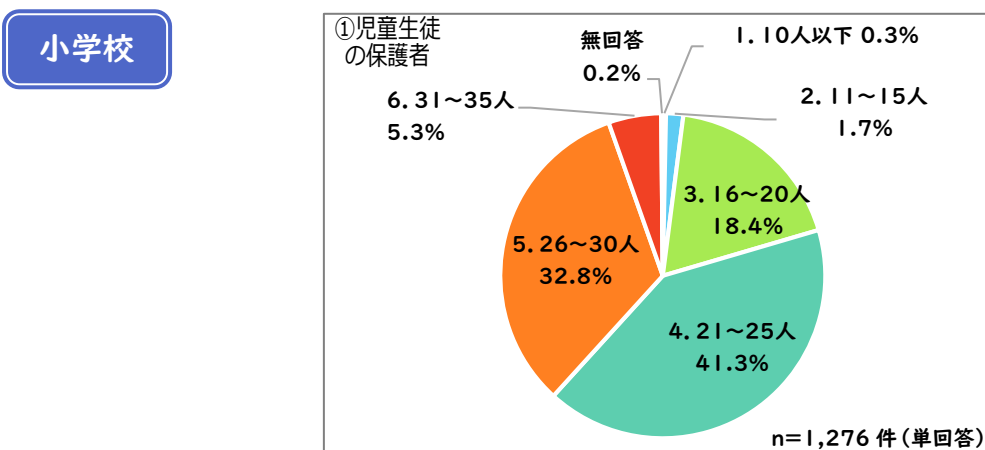


問7 小学校では、1学級あたりの人数はどの程度が望ましいと思いますか。(1つを選択)

① 全体(小学校に関する質問)

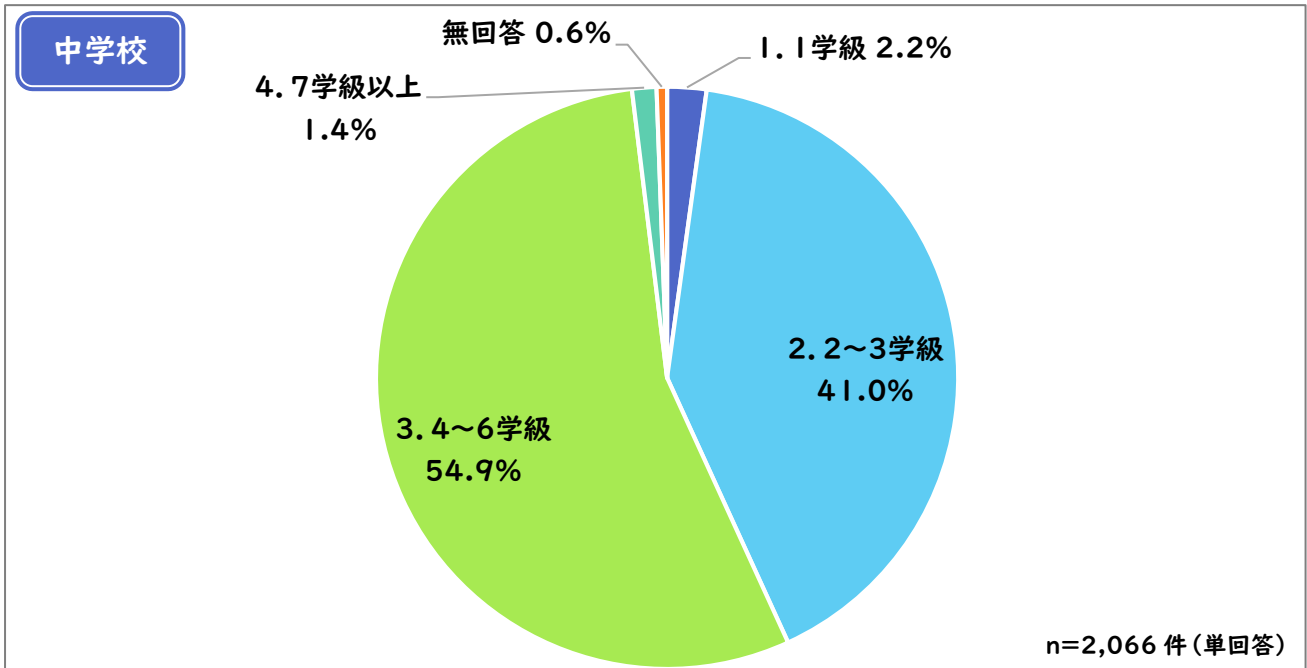


② 対象別(小学校に関する質問)

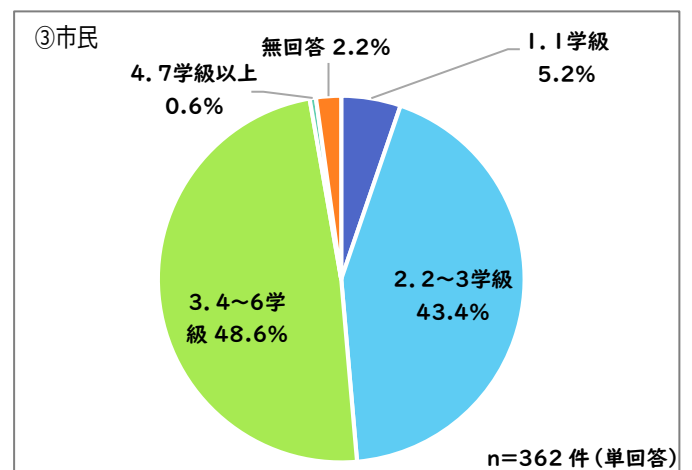
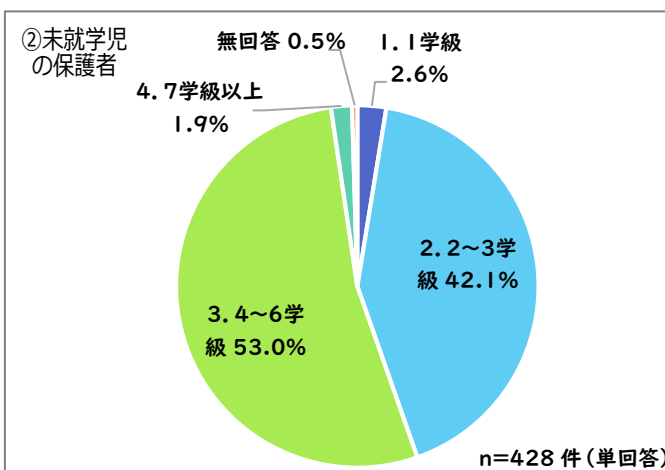
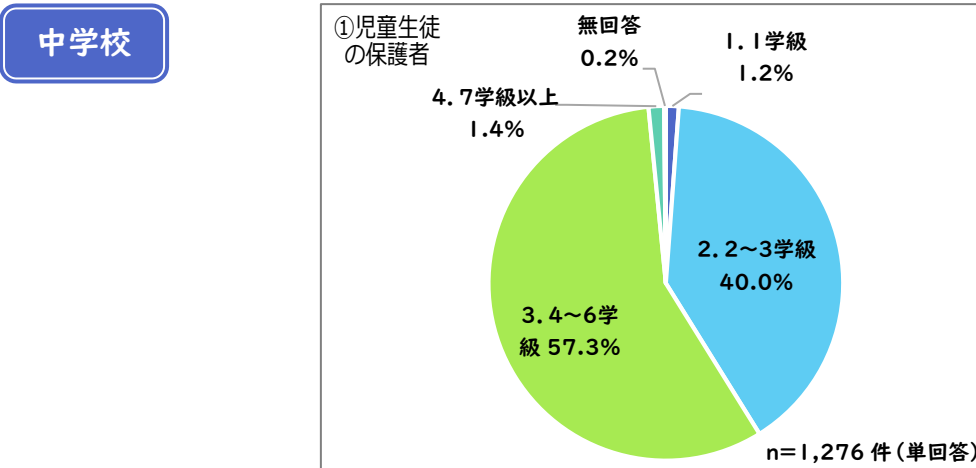


問8 中学校生徒のよりよい教育環境のために、中学校では、1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(1つを選択)

① 全体(中学校に関する質問)

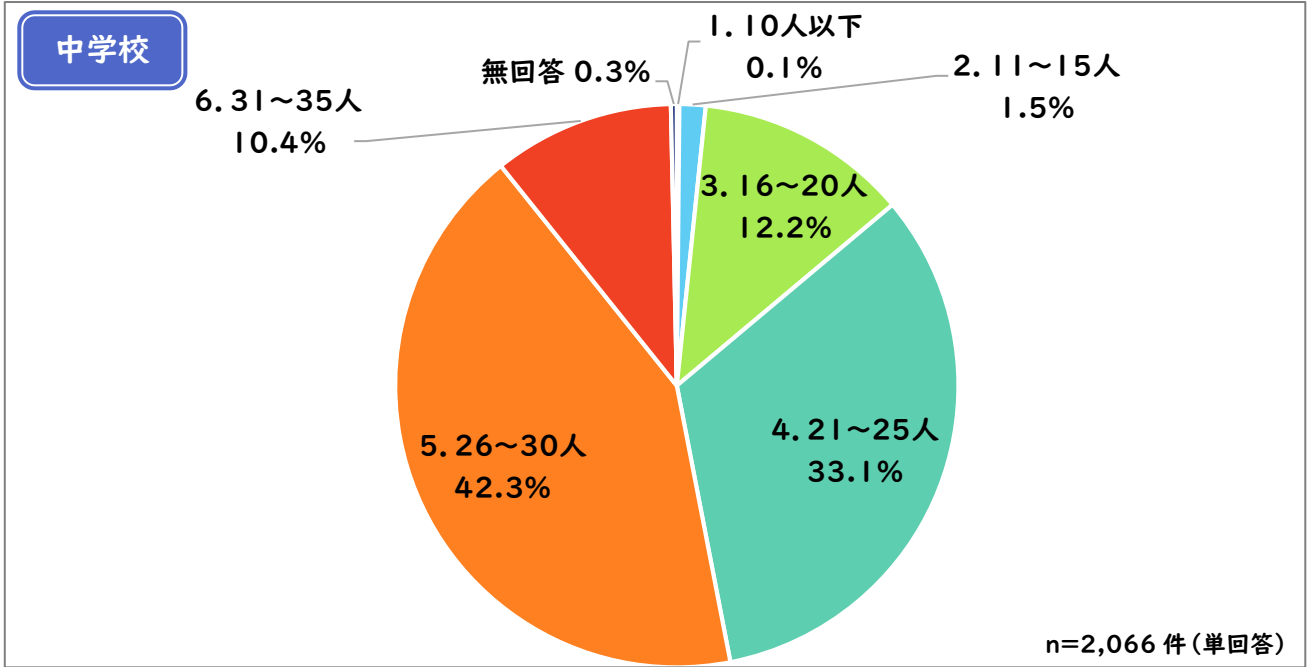


② 対象別(中学校に関する質問)

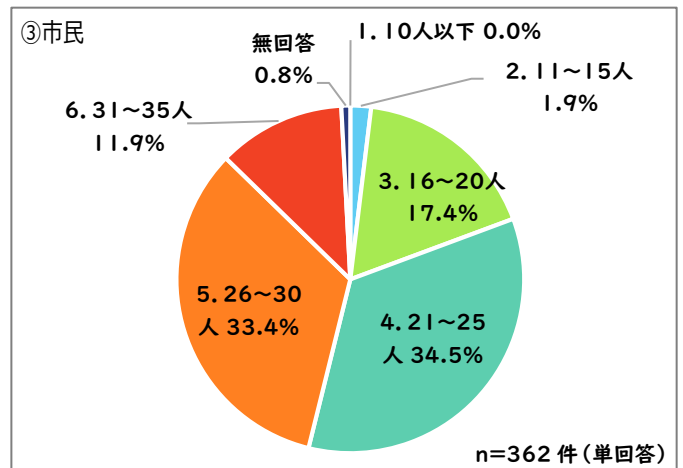
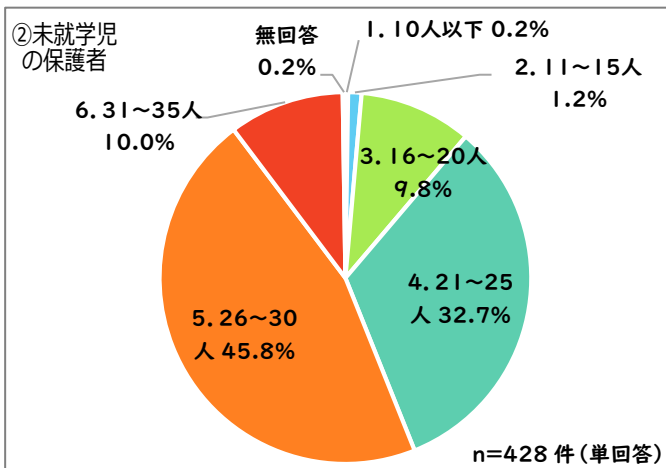
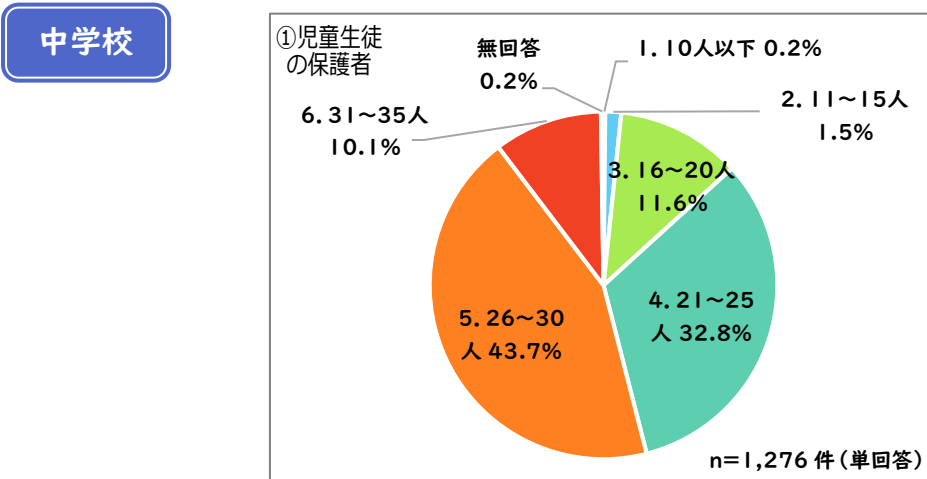


問9 中学校では、1学級あたりの人数はどの程度が望ましいと思いますか。(1つを選択)

① 全体(中学校に関する質問)

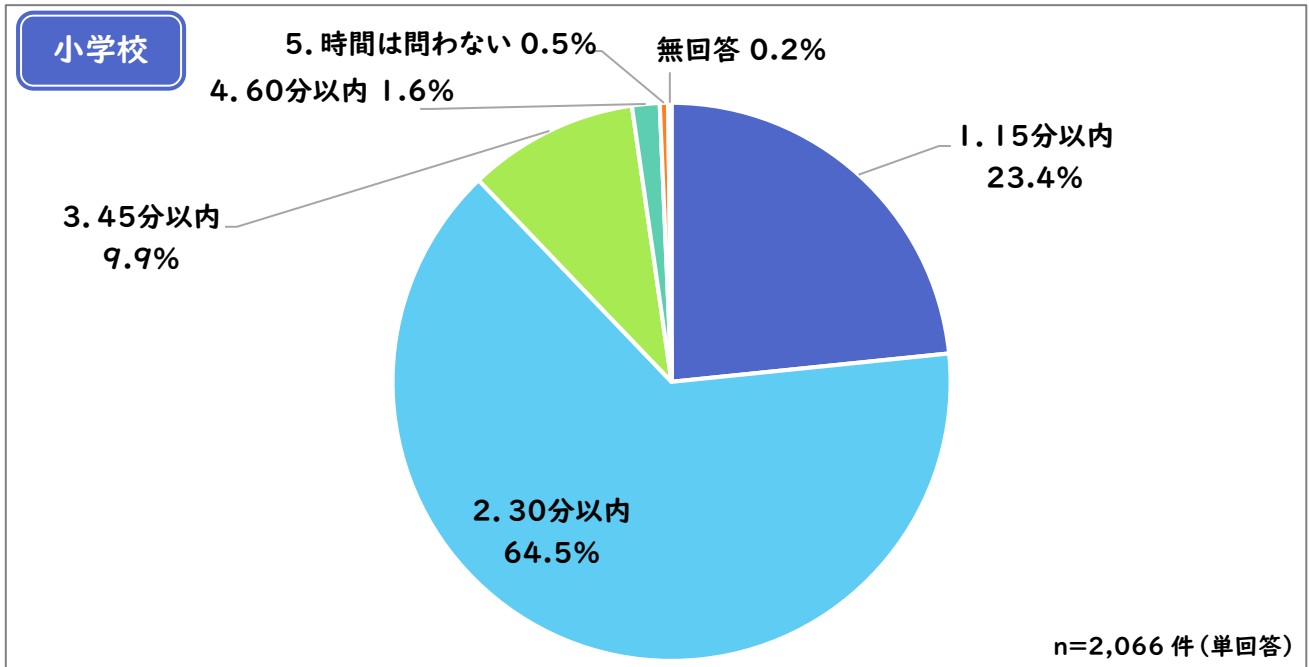


② 対象別(中学校に関する質問)

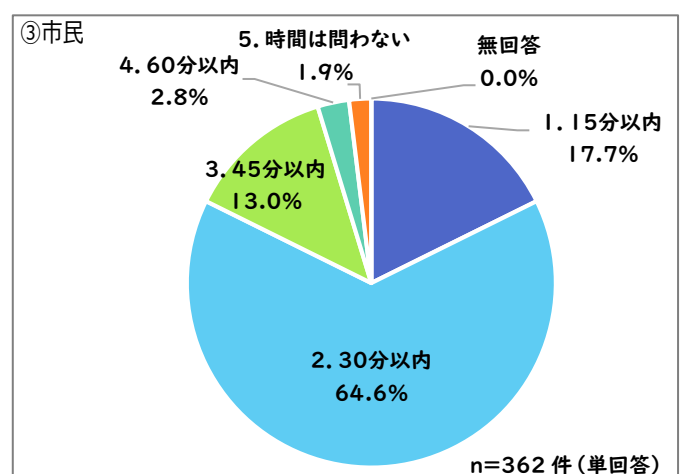
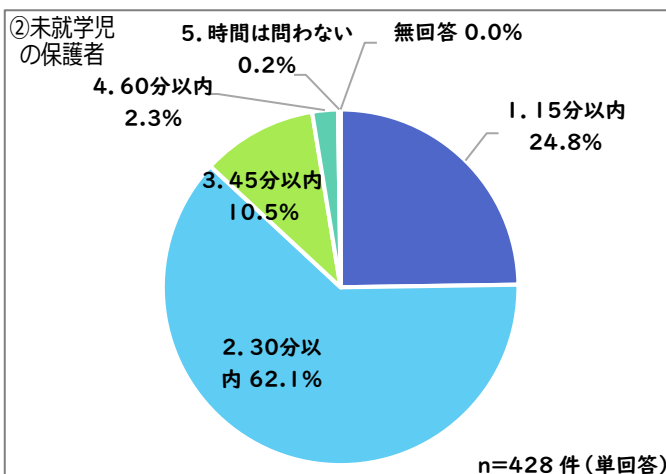
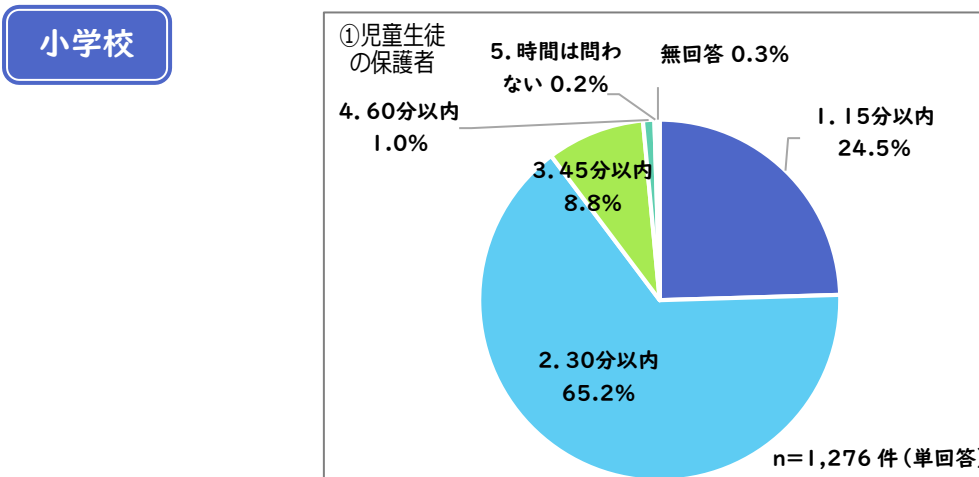


問10 小学生の片道の通学時間は、通学方法に関係なく、どのくらいまでが限度(最長)だと思いますか。(1つを選択)

① 全体(小学校に関する質問)

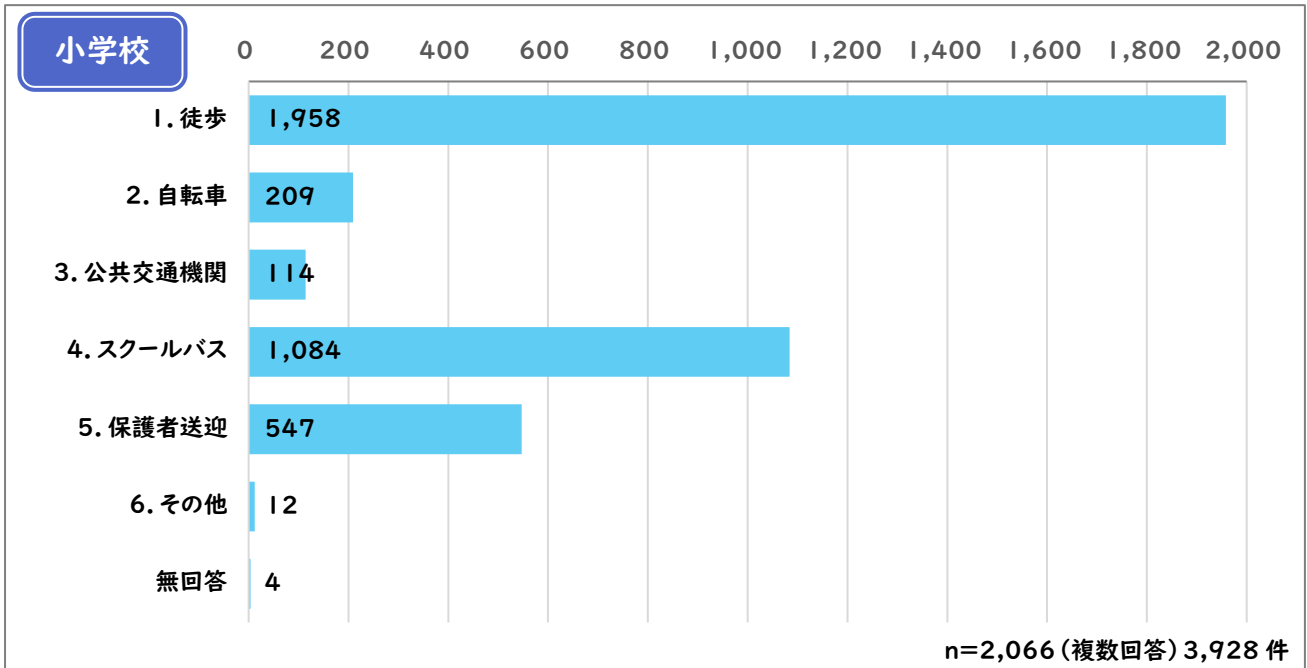


② 対象別(小学校に関する質問)



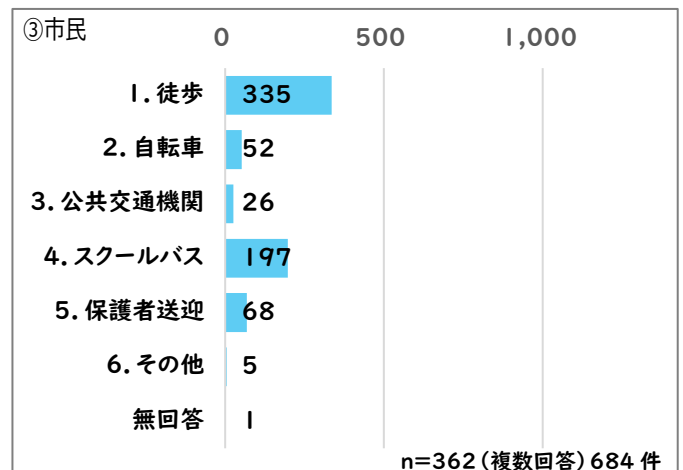
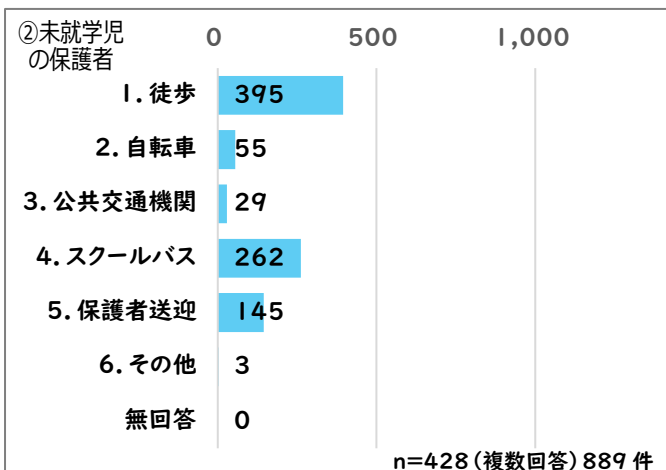
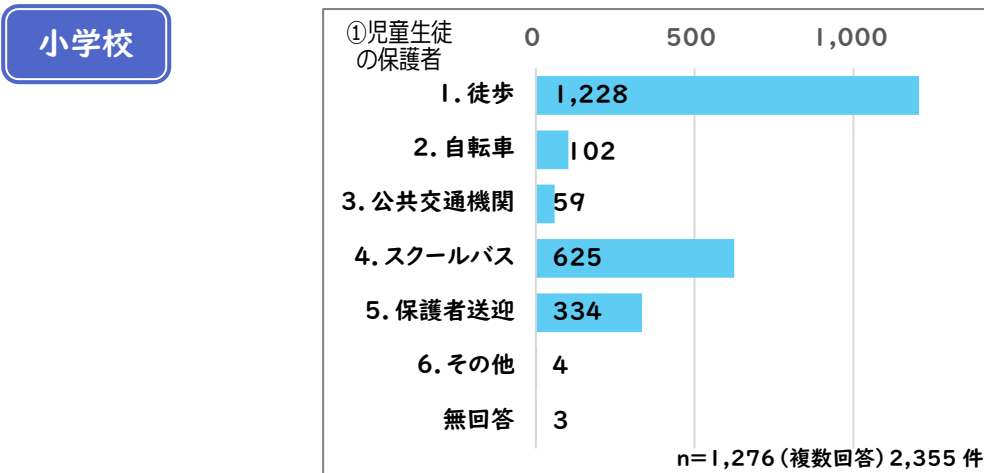
問11 小学生の通学方法として、どのような方法が適当だと思いますか。(適当と思うものすべてを選択)

① 全体(小学校に関する質問)



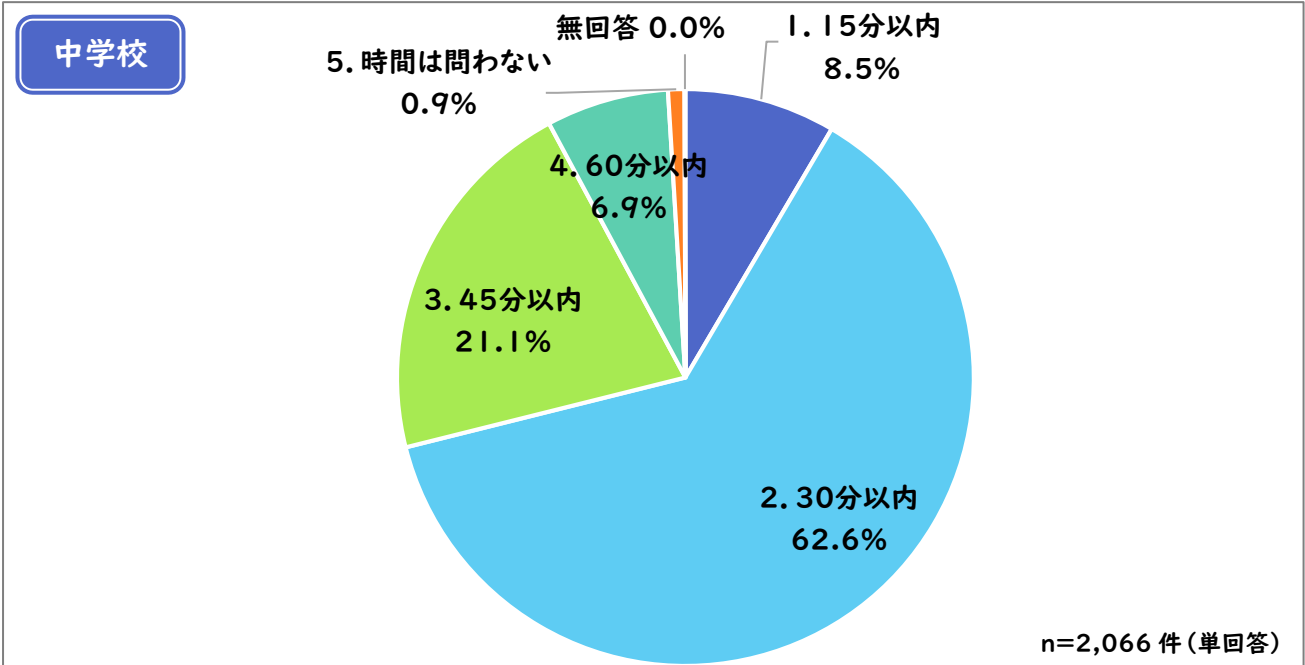
※その他の意見は30ページに記載。

② 対象別(小学校に関する質問)

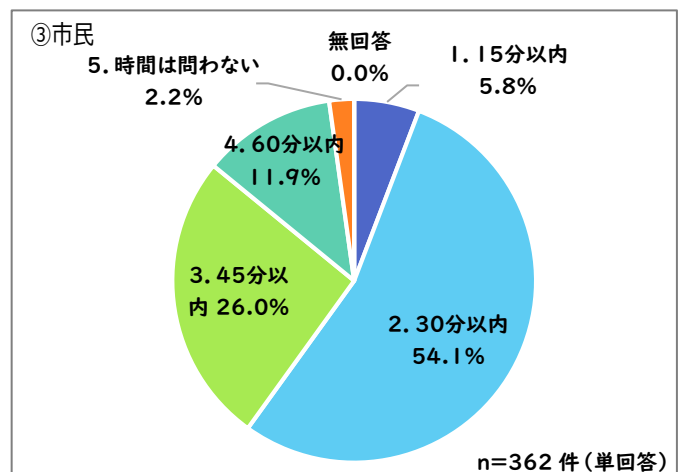
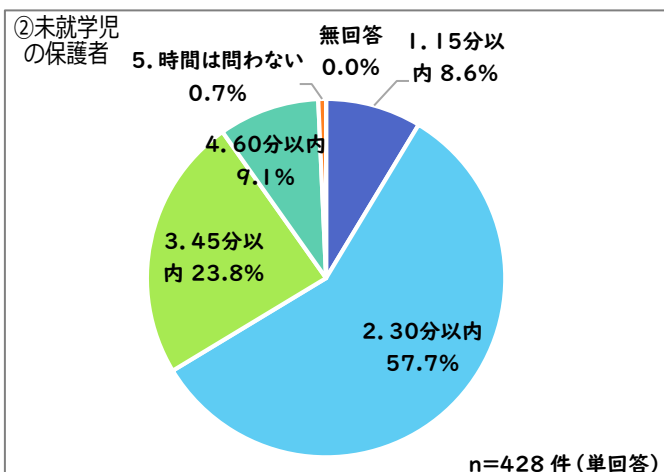
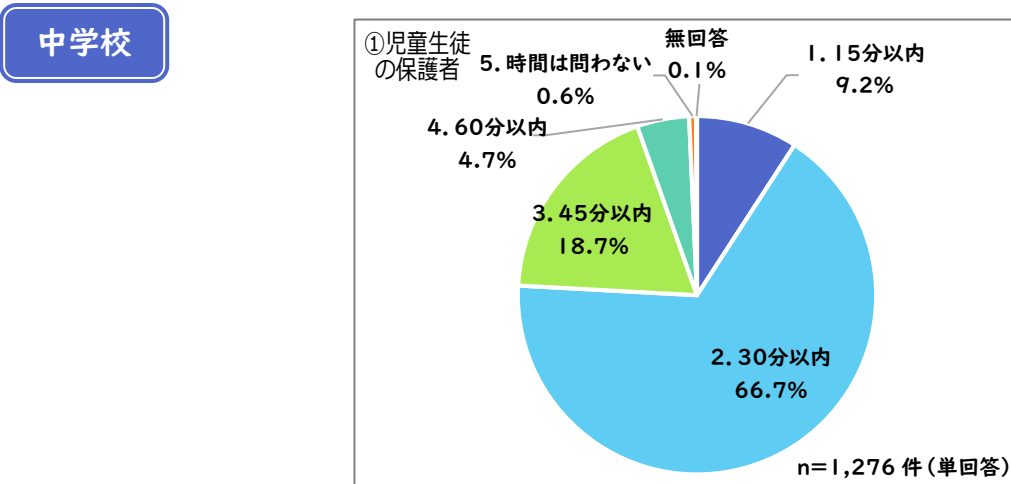


問12 中学生の片道の通学時間は、通学方法に関係なく、どのくらいまでが限度(最長)だと思いますか。(1つを選択)

① 全体(中学校に関する質問)

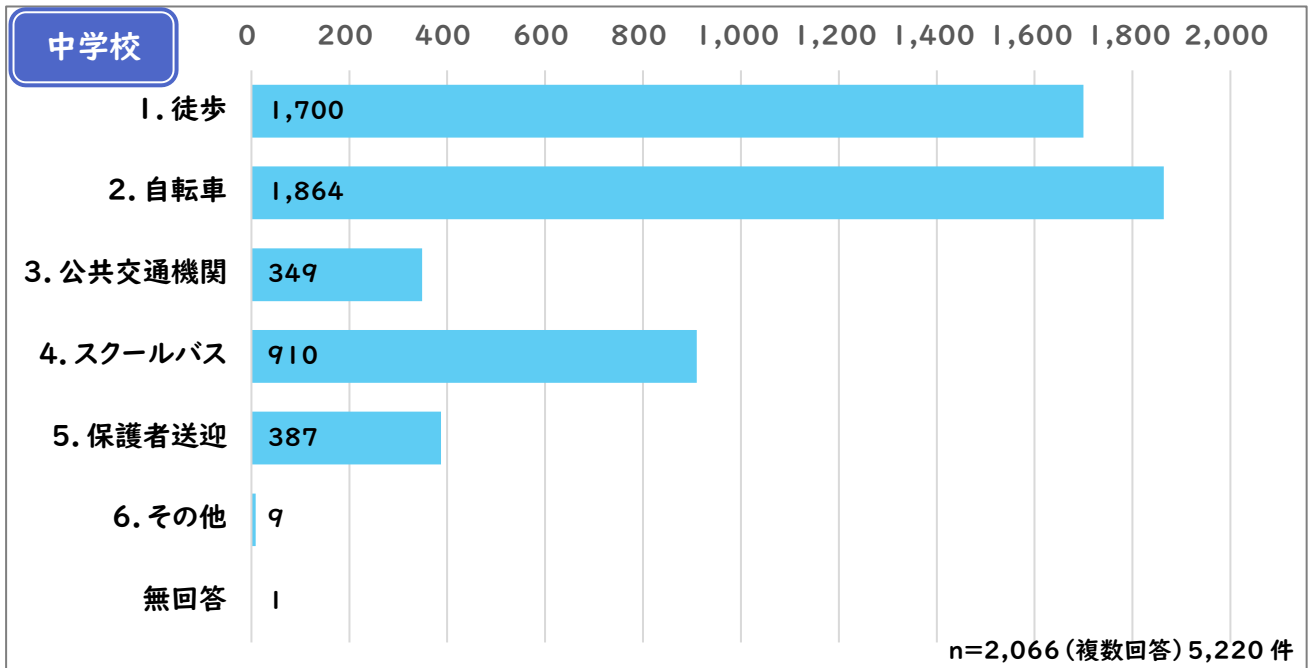


② 対象別(中学校に関する質問)



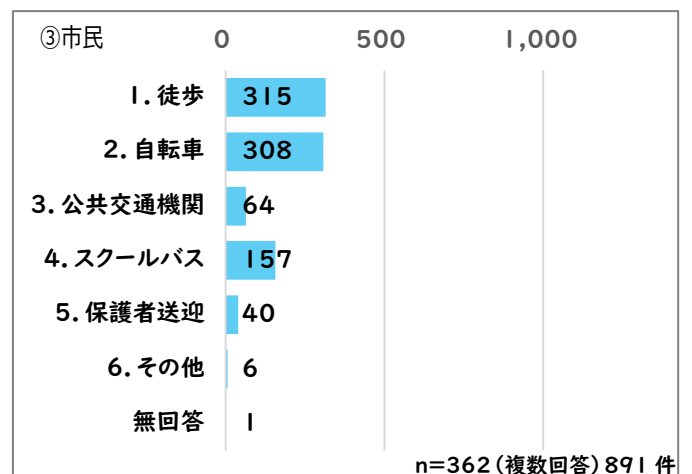
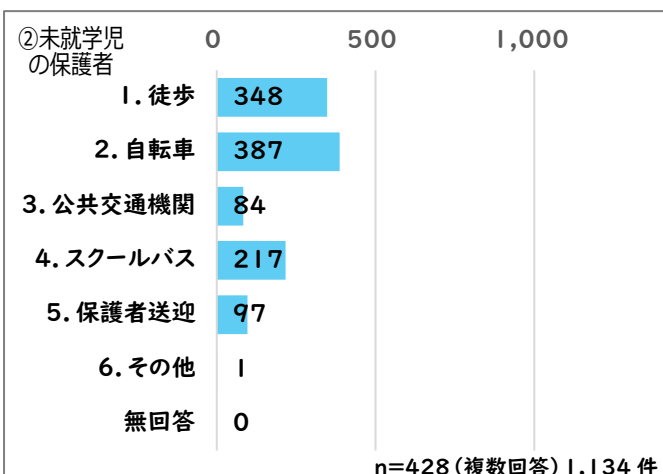
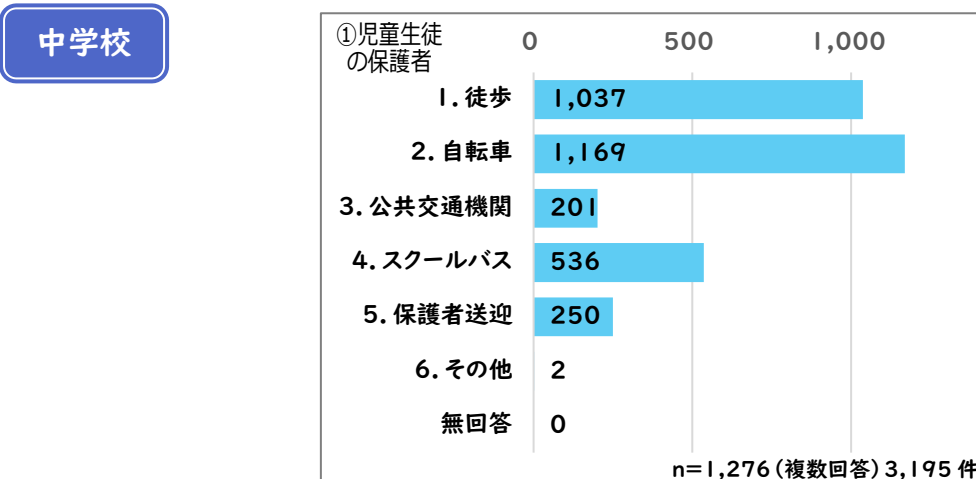
問13 中学生の通学方法として、どのような方法が適当だと思いますか。(適当と思うものすべてを選択)

① 全体(中学校に関する質問)



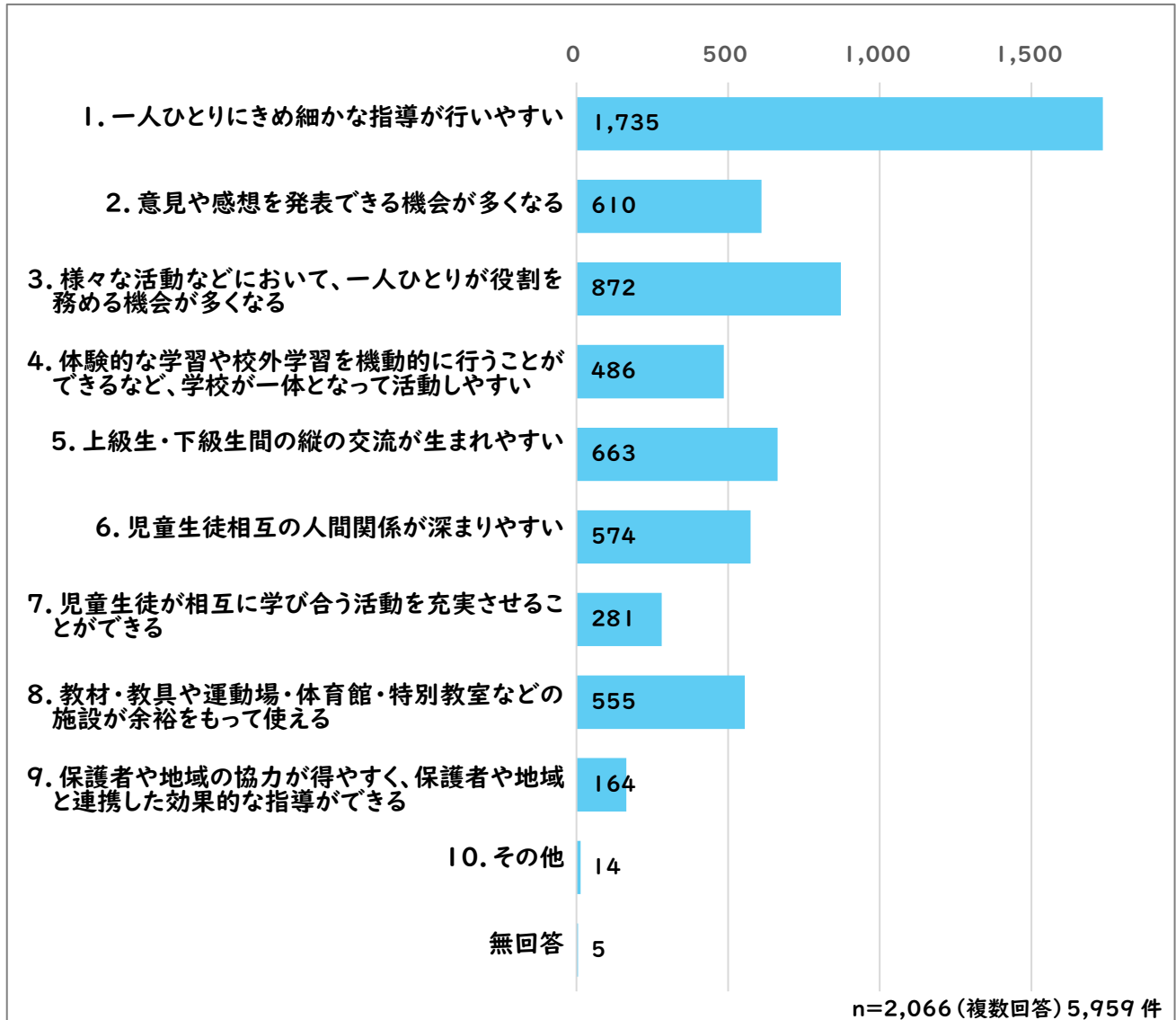
※その他の意見は30ページに記載。

② 対象別(中学校に関する質問)



問14 小規模校の「よさ」について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(3つまで選択)

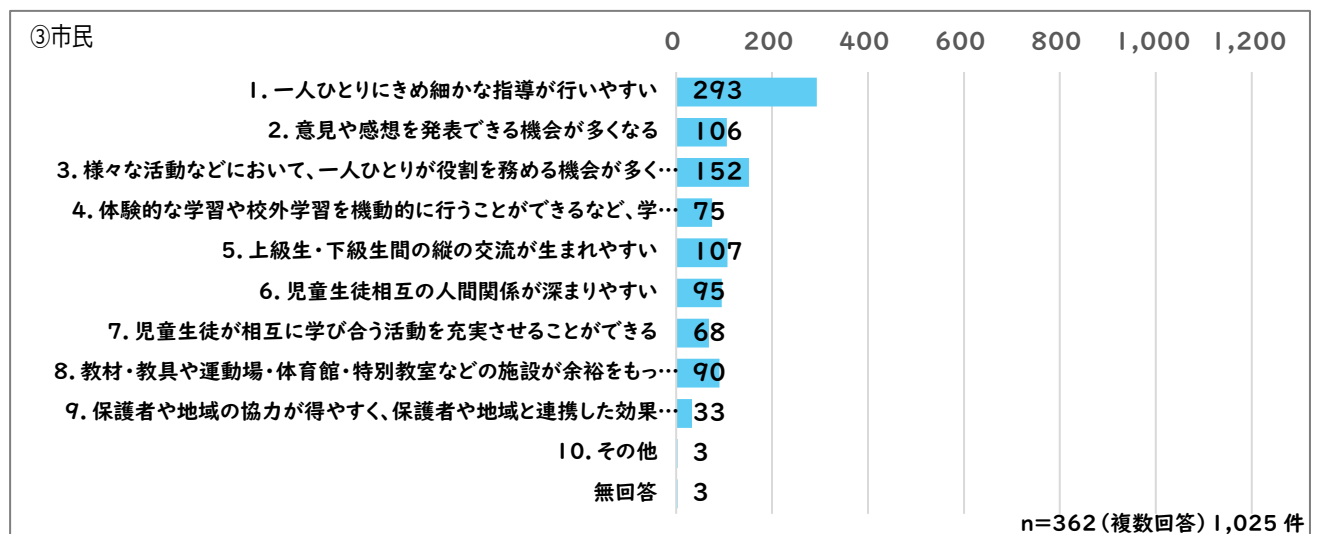
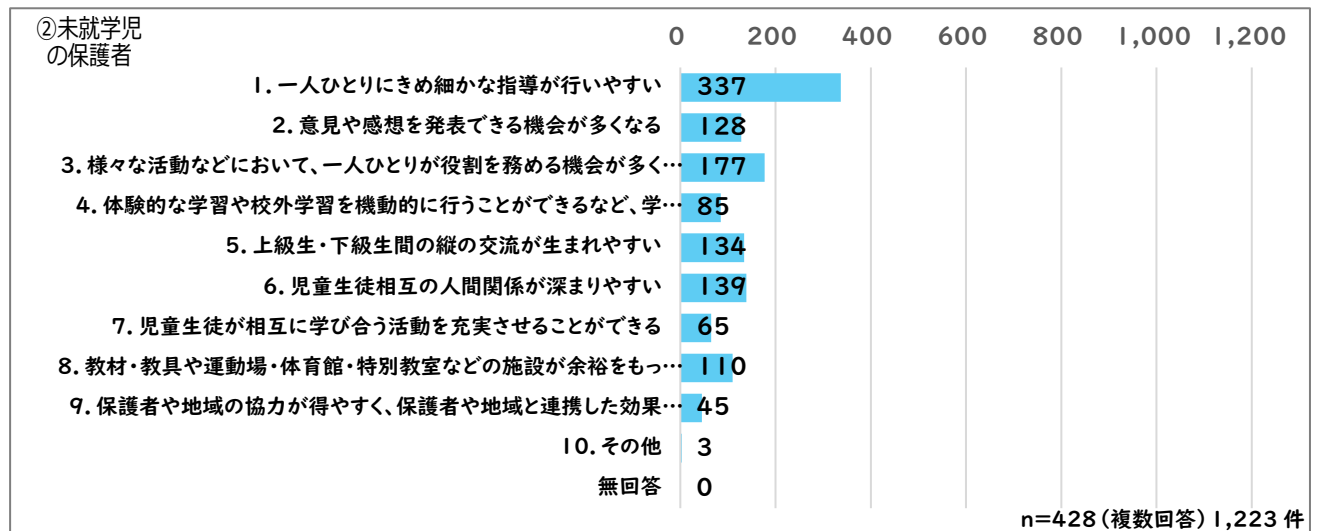
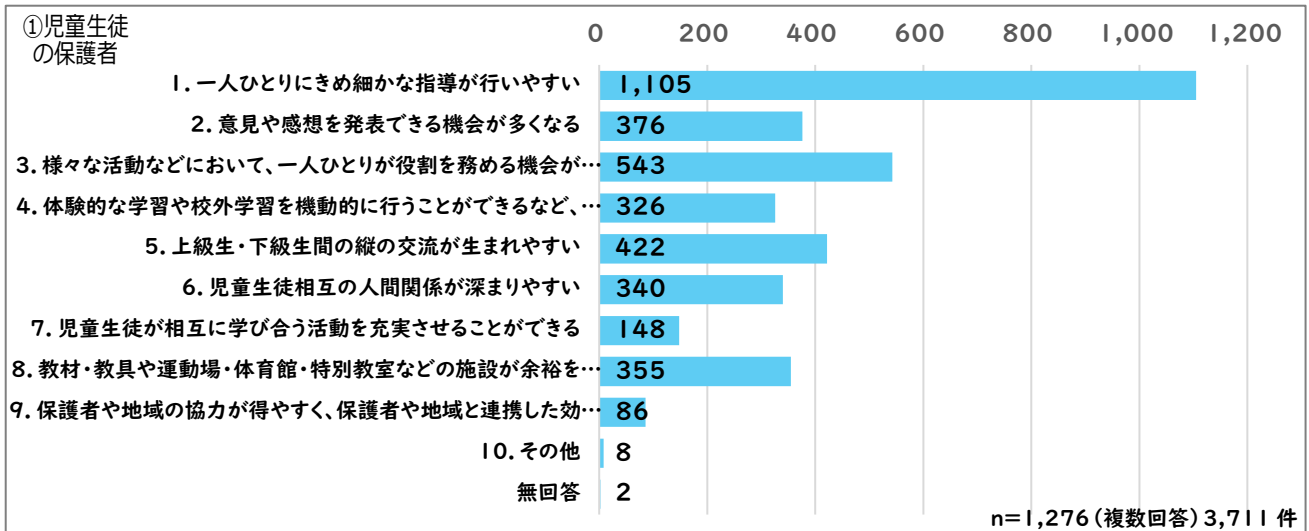
① 全体



【その他】として記載のあった主な意見

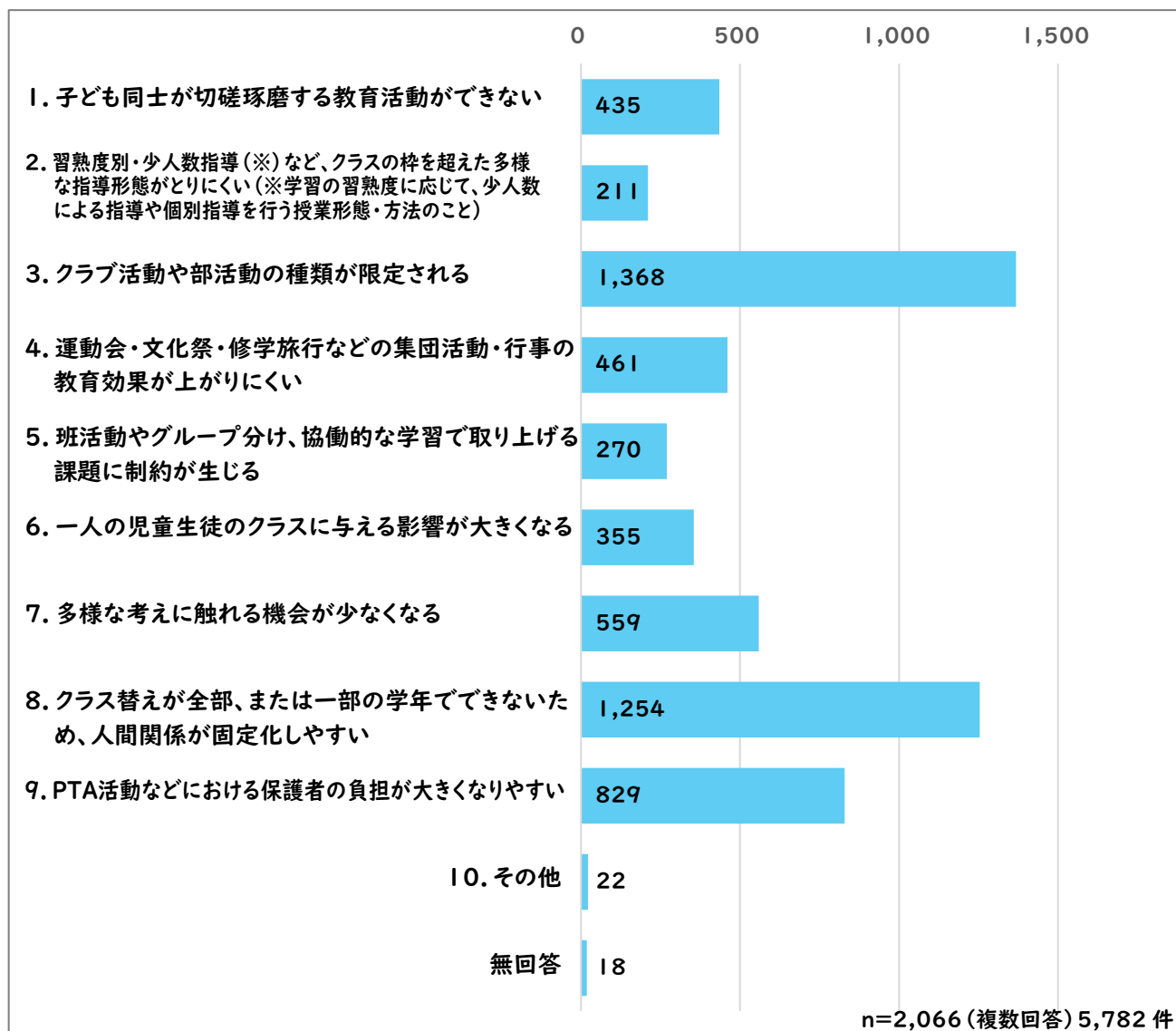
- ・いじめを見落とさずにすむ。担任の目が行き届く。一人ひとりと向き合える。(児童生徒の保護者：30歳代)
- ・保護者が児童・先生を把握しやすい。(児童生徒の保護者：50歳代)
- ・教育者の負担を減らせる。(未就学児の保護者：30歳代)
- ・クラス替えがないので、問題が起こった場合でもうやむやにならず解決までが早い。(市民：50歳代)

② 対象別



問15 小規模校の「課題」について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(3つまで選択)

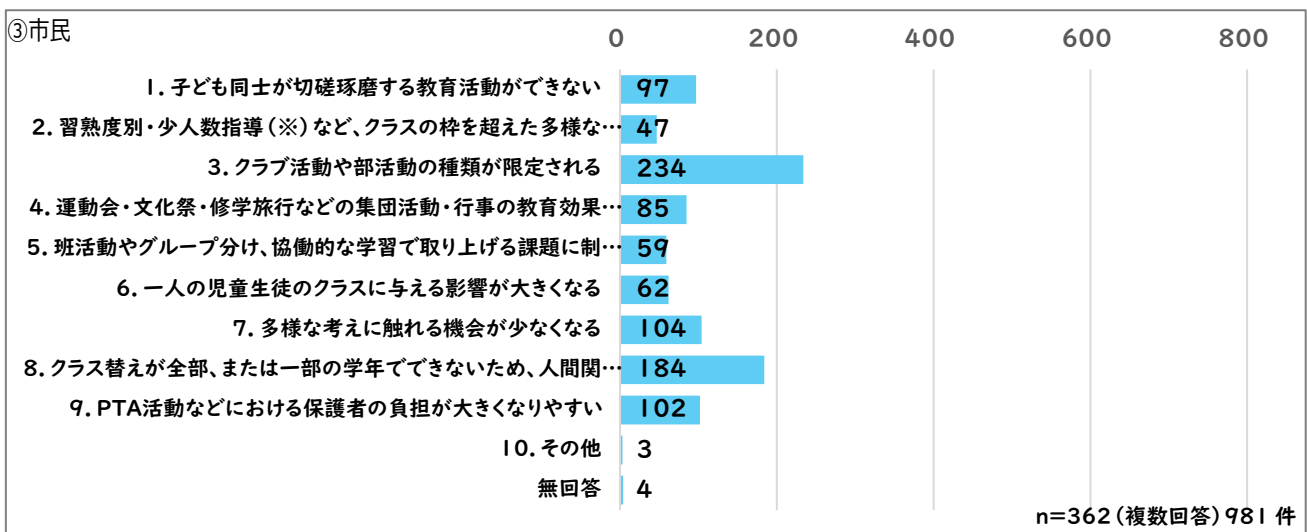
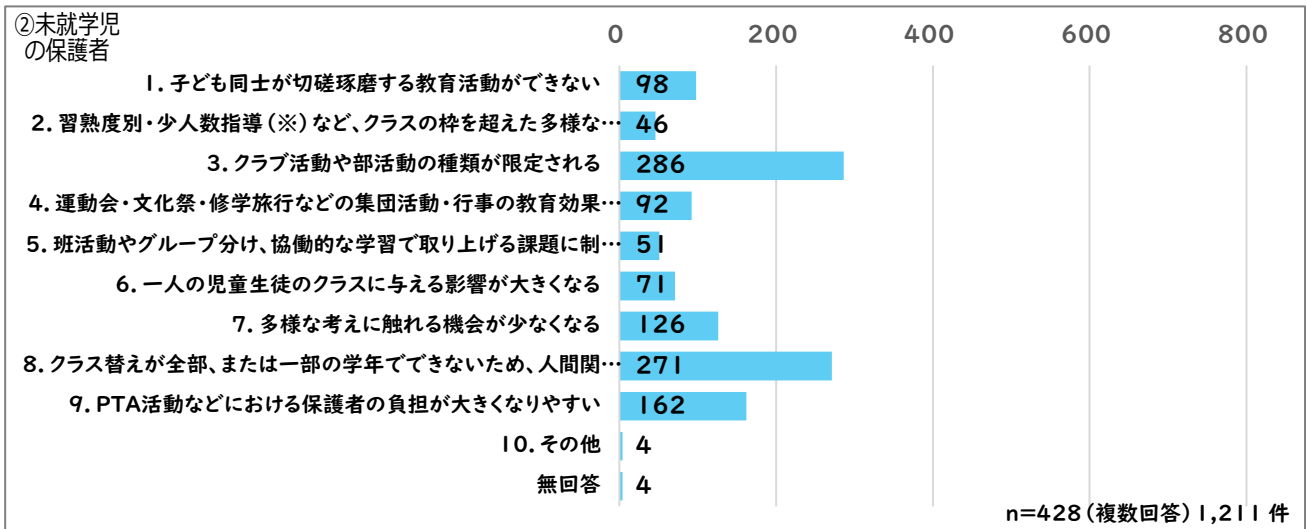
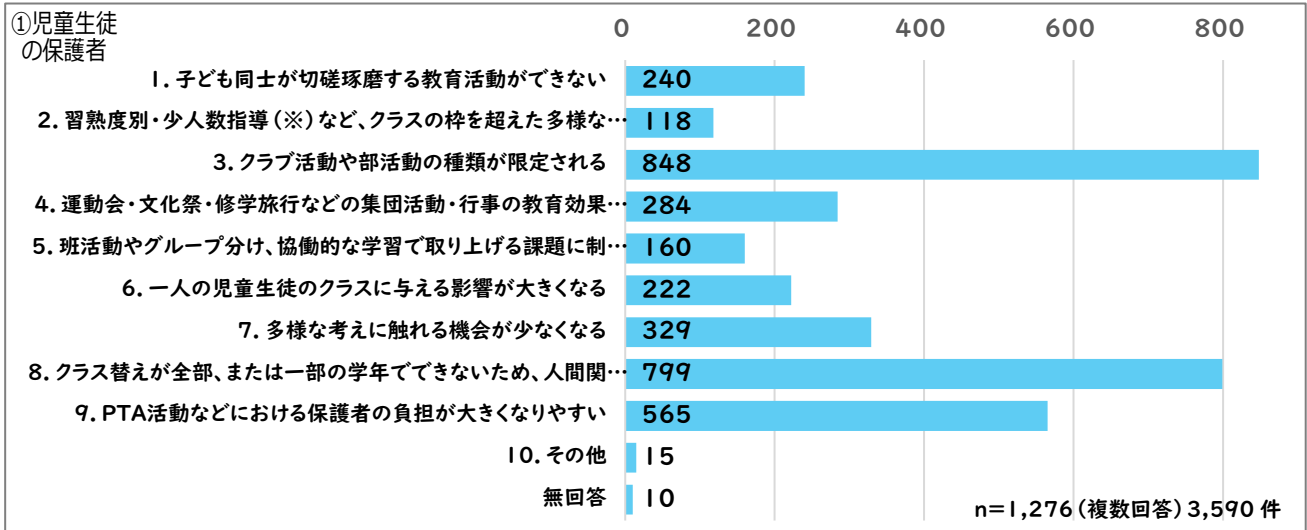
① 全体



【その他】として記載のあった主な意見

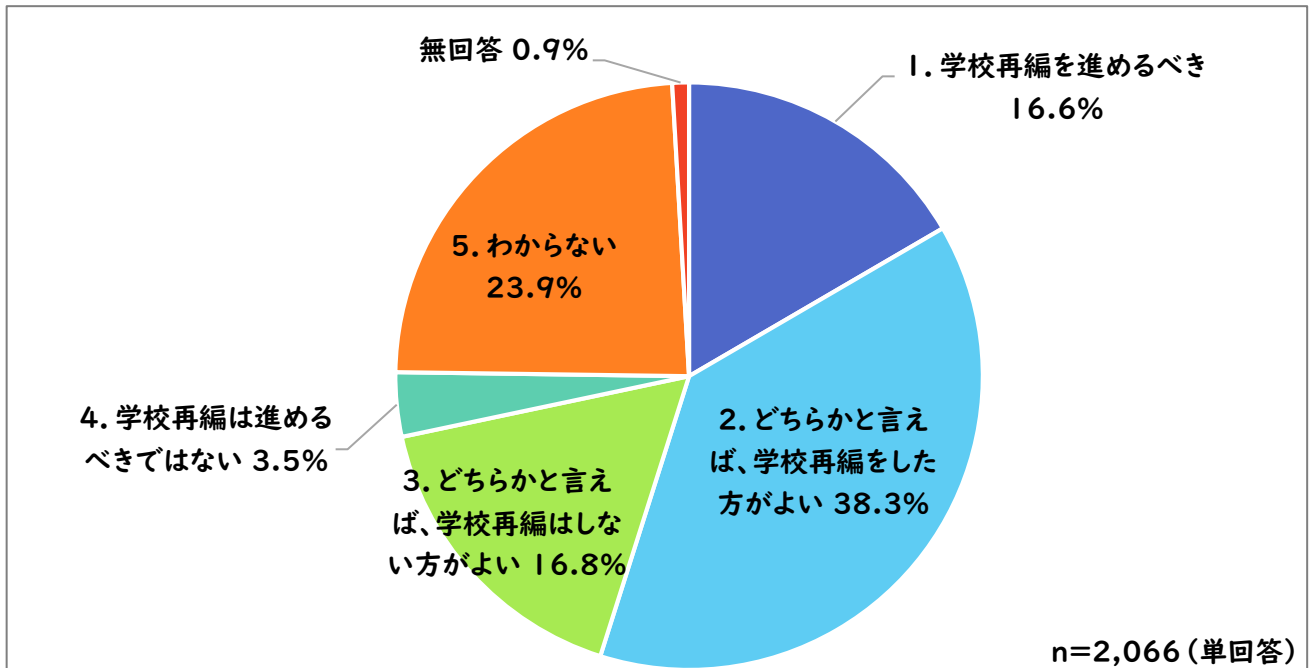
- ・クラスが1つしかない時にいじめが発生した場合、逃げ場が無くなる。複数のクラスを持つような環境があれば良いと思います。(児童生徒の保護者：30歳代)
- ・いじめや不仲があった時に、クラス替えなどないために逃げ場がない。(市民：50歳代)
- ・先生の確保が難しい。(児童生徒の保護者：30歳代)
- ・万が一、いじめなど問題があっても、クラスが1クラスなどしかない場合、当該児童のクラスを分けることができない。(未就学児の保護者：20歳代)

② 対象別

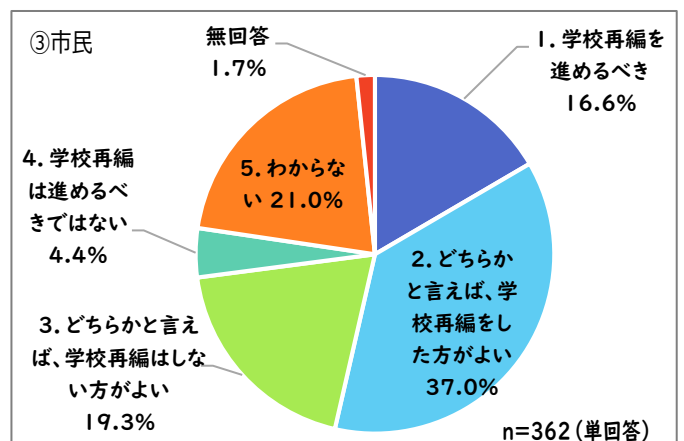
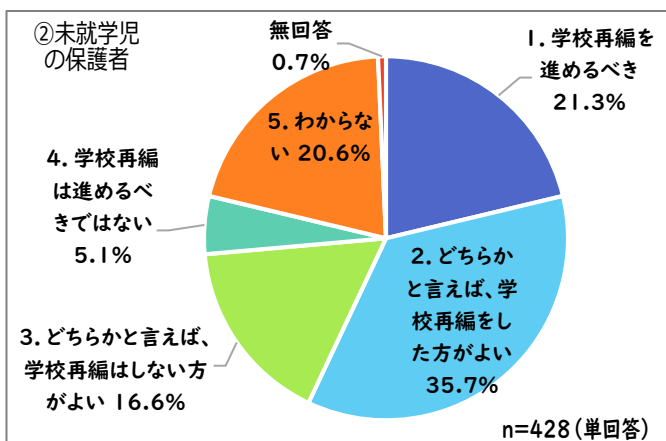
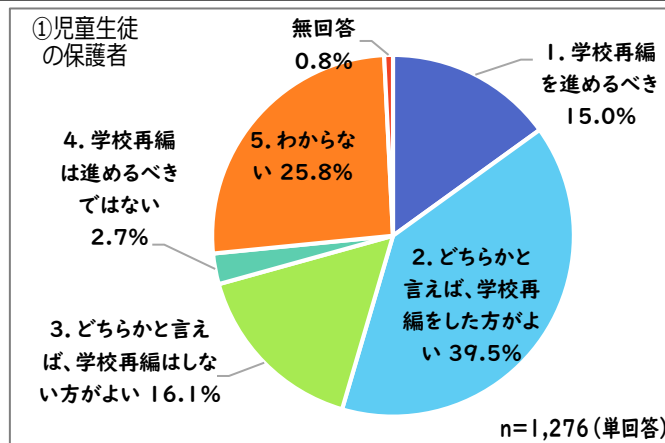


問16 一定規模以上の学校規模を確保するための小・中学校の再編について、今後、どのようにしていくことが望ましいと思いますか。(1つを選択)

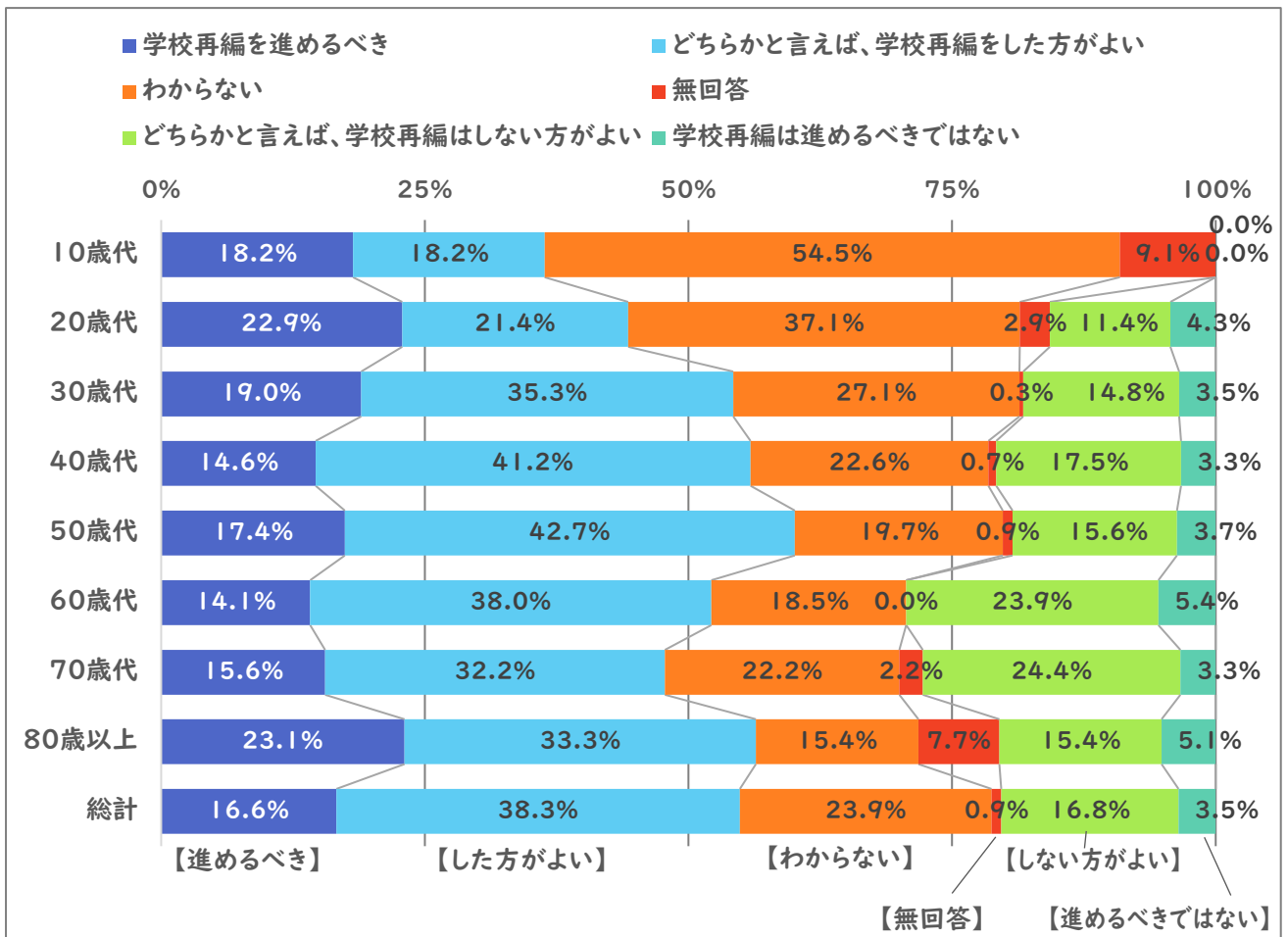
① 全体



② 対象別



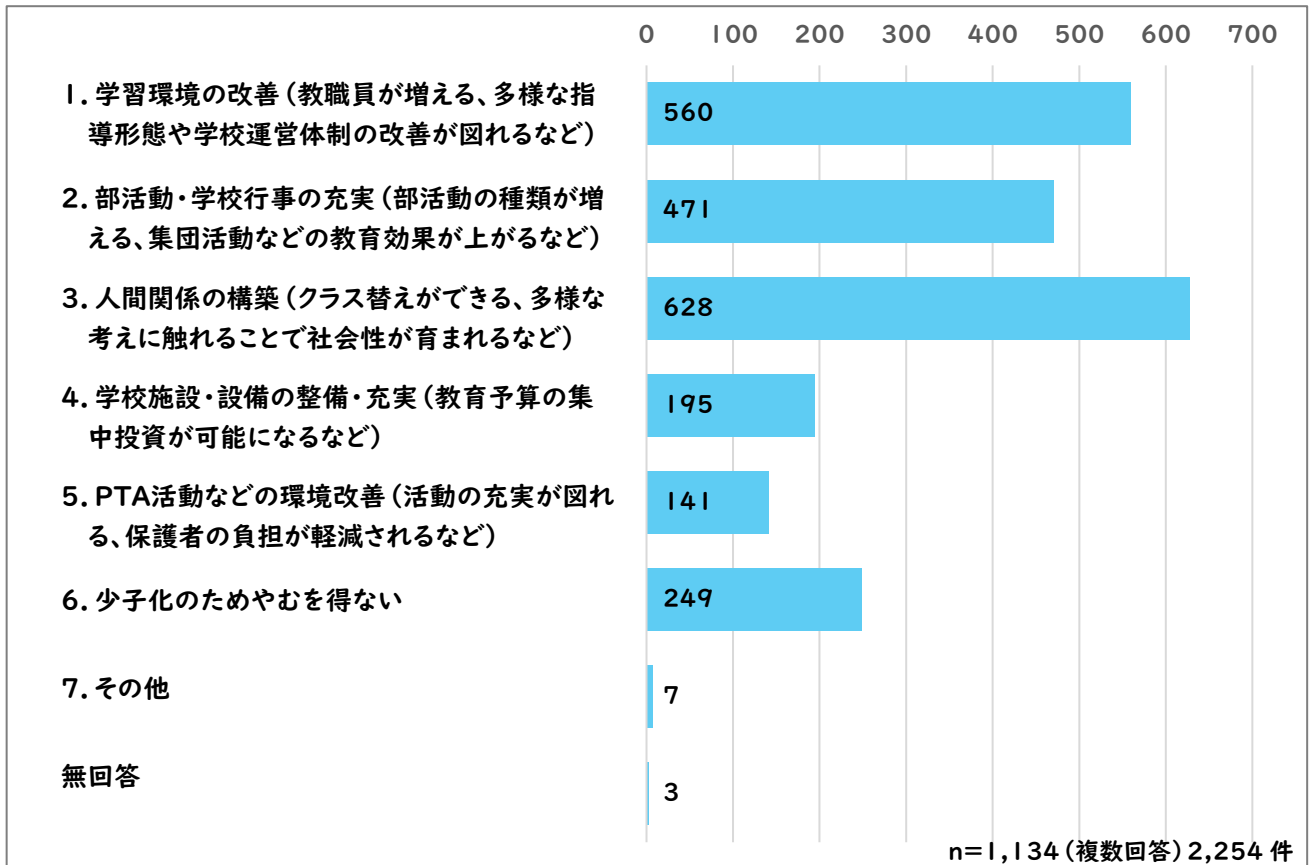
③ 年代別



問16で「1」または「2」を選択した方にお聞きします。

問17 問16で「1. 学校再編を進めるべき」、または「2. どちらかと言えば、学校再編をした方がよい」を選択した理由として、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(2つまで選択)

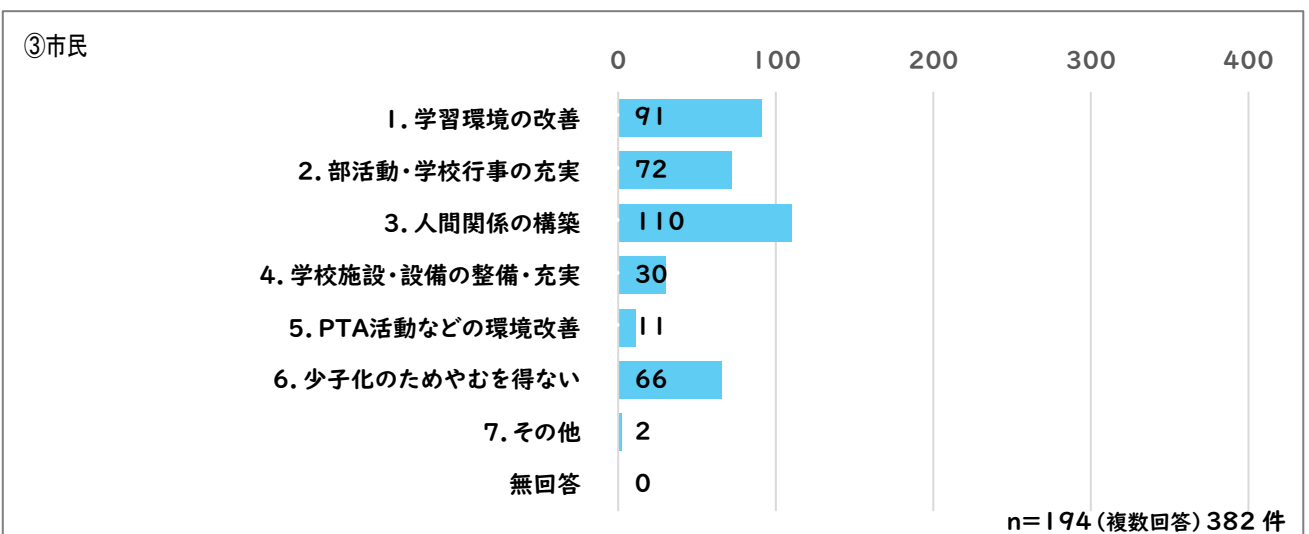
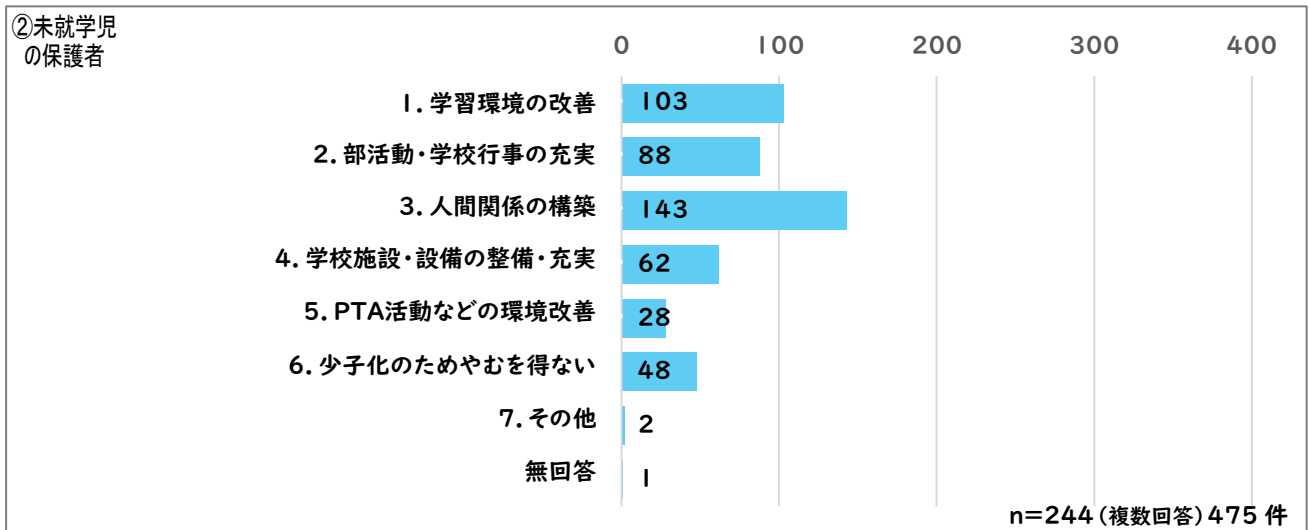
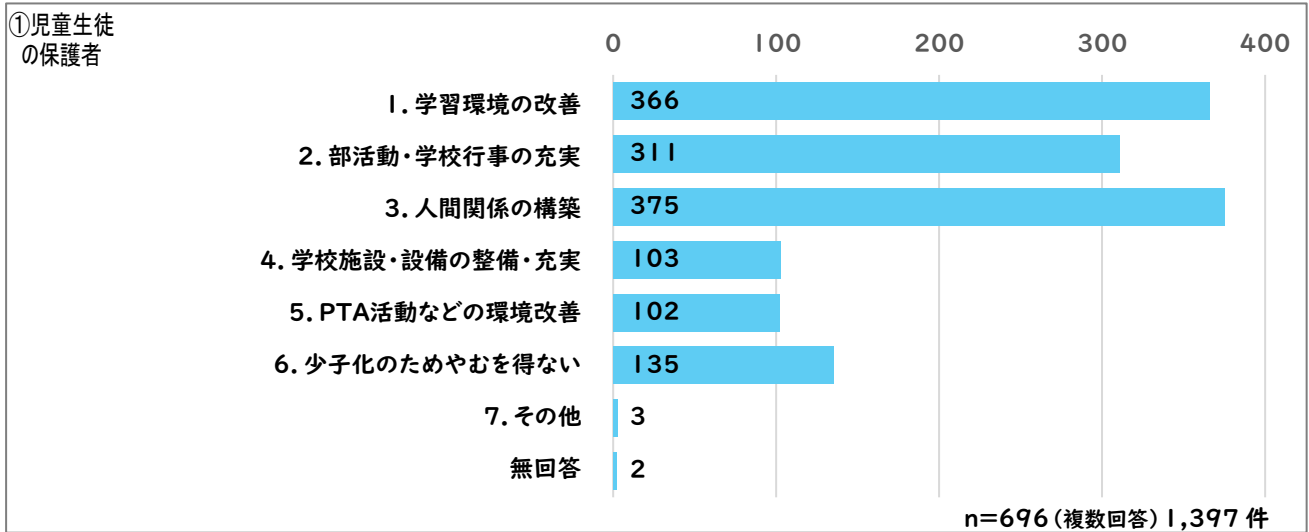
① 全体



【その他】として記載のあった主な意見

- ・教員の労働環境の改善、質の維持のため。(未就学児の保護者：30 歳代)
- ・同級生に同性の児童がいない等の理由で、違う小学校に行ってしまった子もいたため。(市民：50 歳代)
- ・少人数での学校生活では、勉強・部活等に片寄りが発生すると思う。(市民：50 歳代)

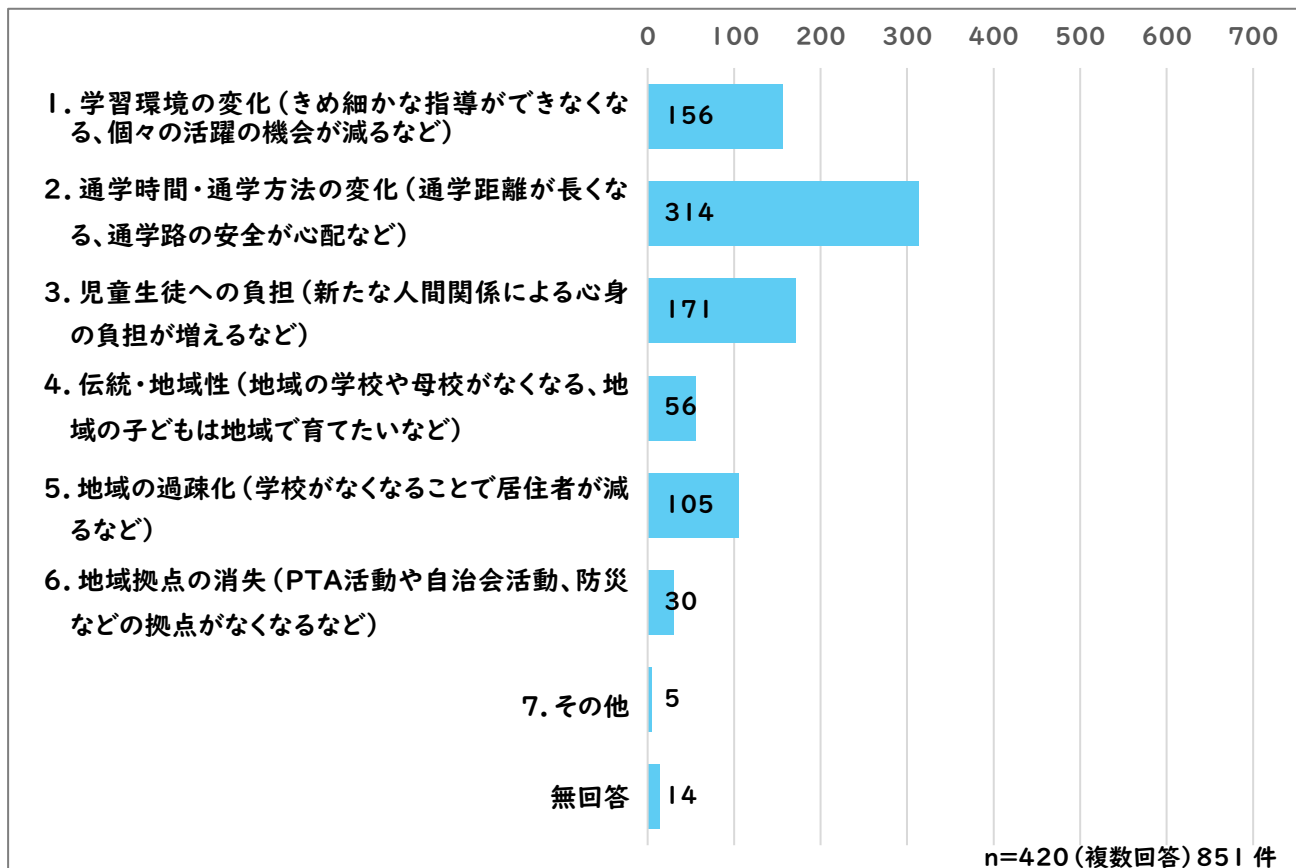
② 対象別



問16で「3」または「4」を選択した方にお聞きします。

問18 問16で「3. どちらかと言えば、学校再編はしない方がよい」、または「4. 学校再編は進めるべきではない」を選択した理由として、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(2つまで選択)

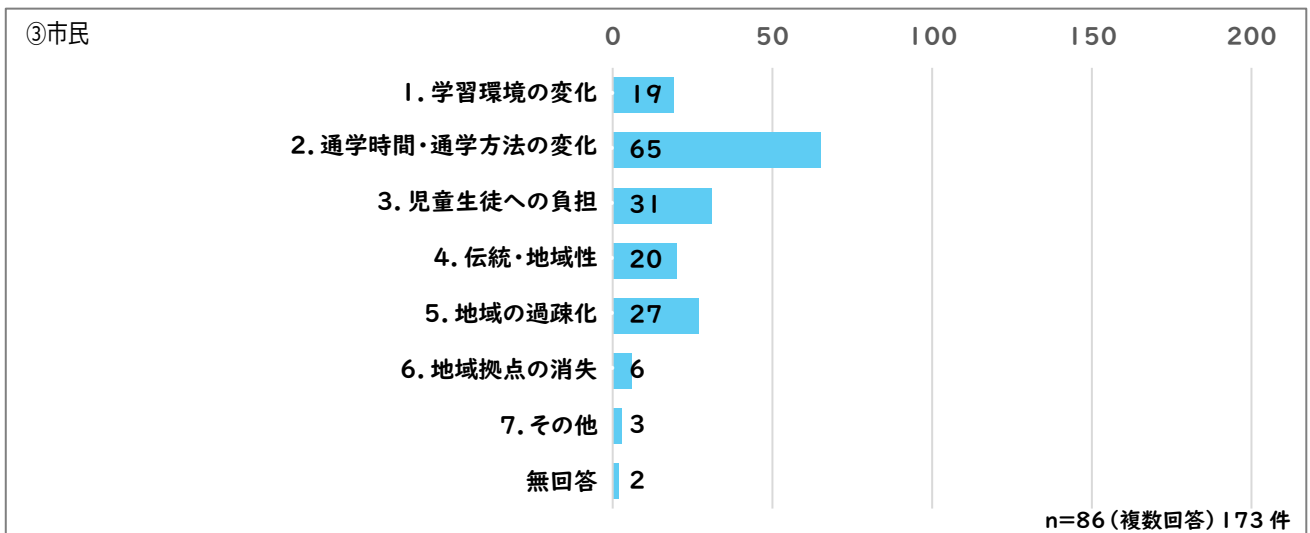
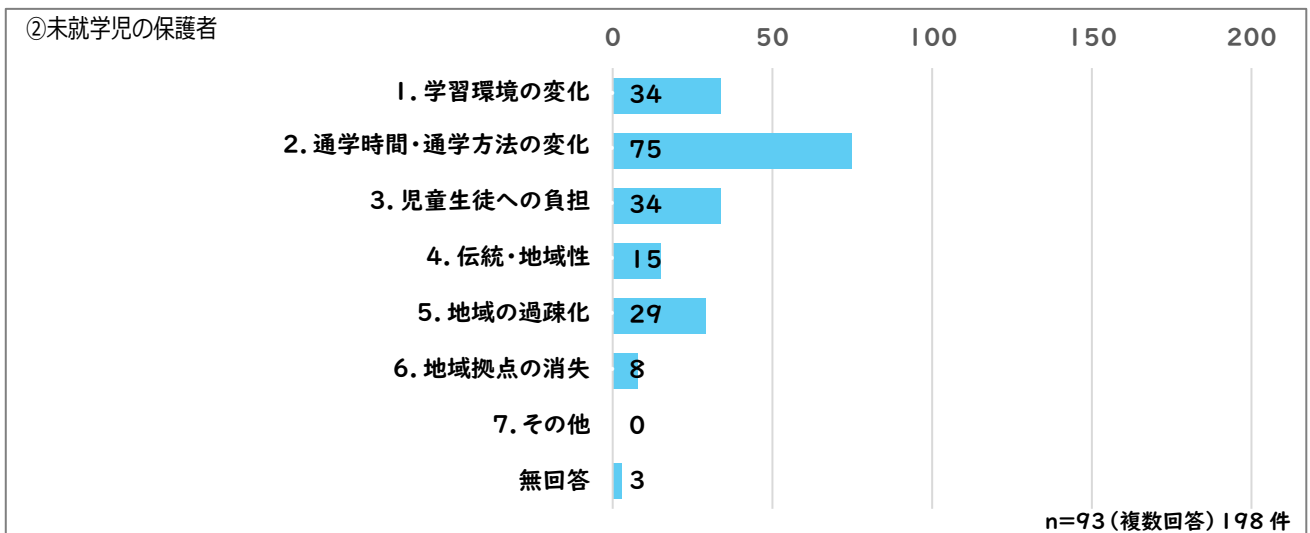
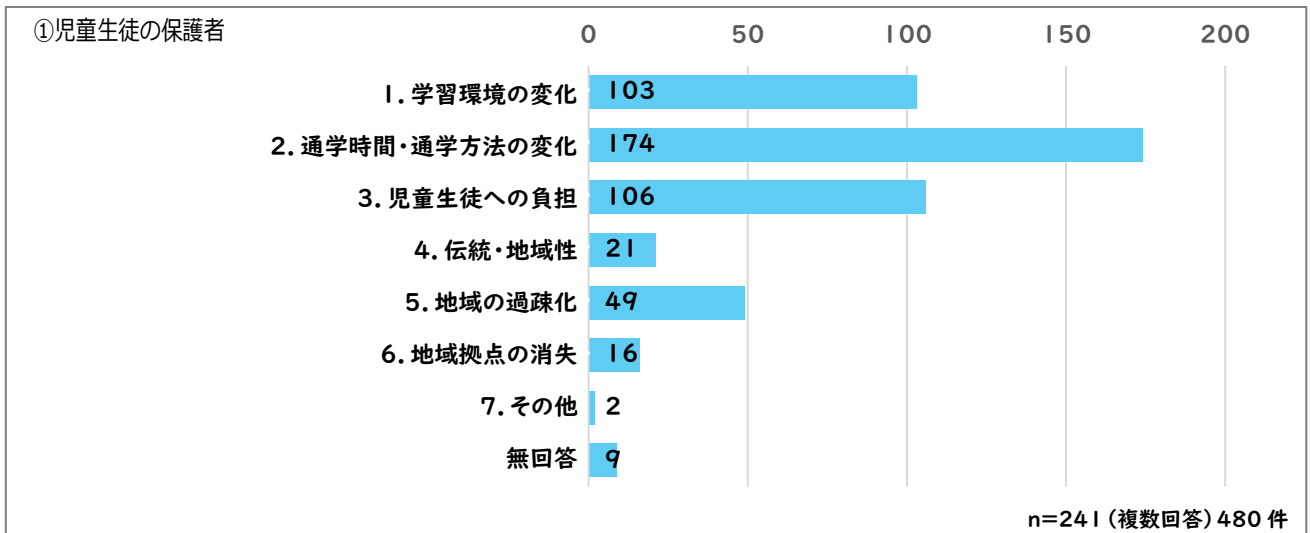
① 全体



【その他】として記載のあった主な意見

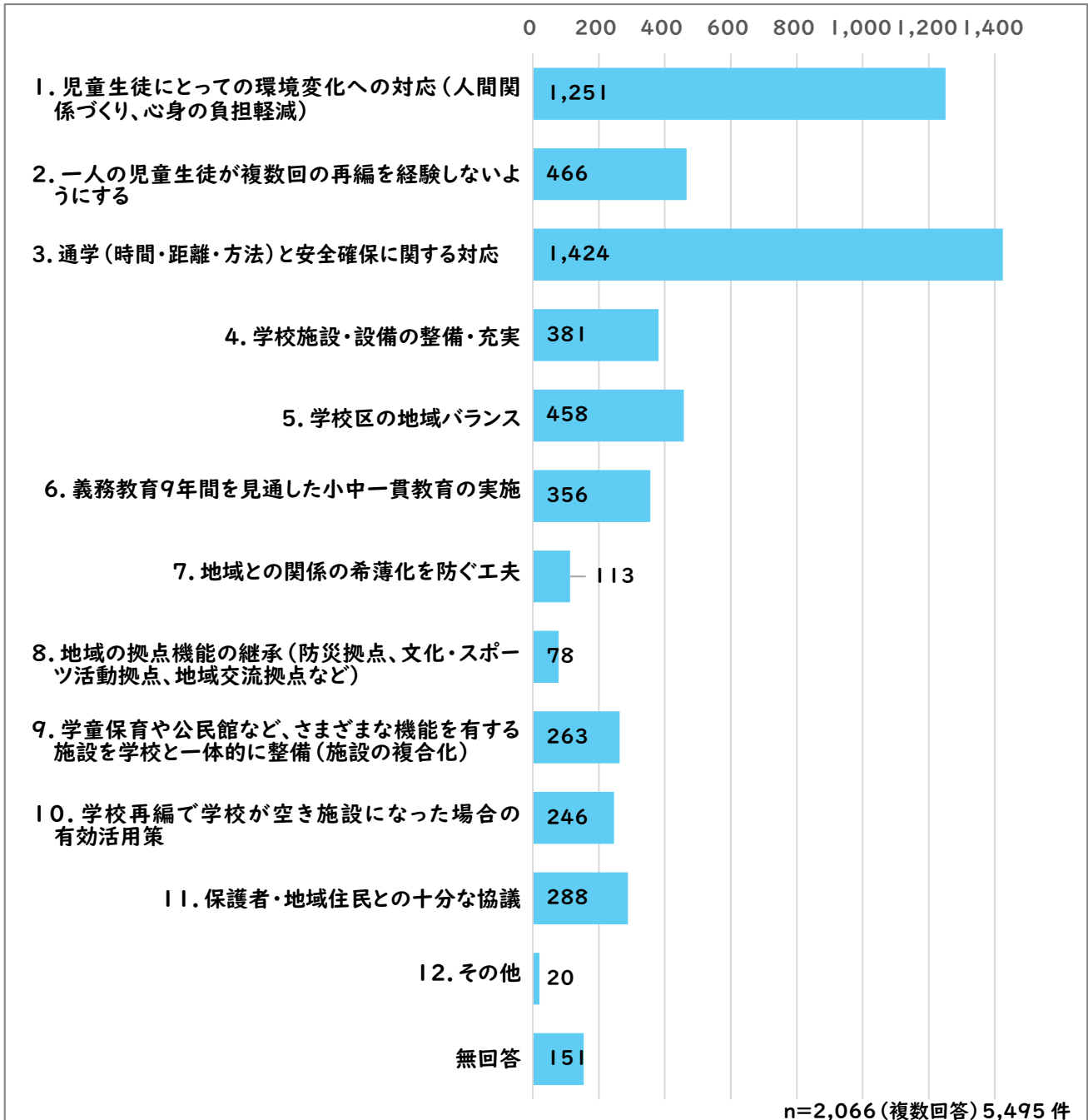
- ・少ない人数できめ細かな指導を望むため。(児童生徒の保護者：40歳代)
- ・大人の母校がなくなる悲しみ。(市民：80歳代)
- ・スクールバスでの送迎可なら学校再編に賛成でも良い。(市民：70歳代)
- ・再編をした場合のメリットが今一つ理解出来ないため。(市民：40歳代)

② 対象別



問19 学校再編を検討する場合、どのような点に配慮すべきと思いますか。(3つまで選択)

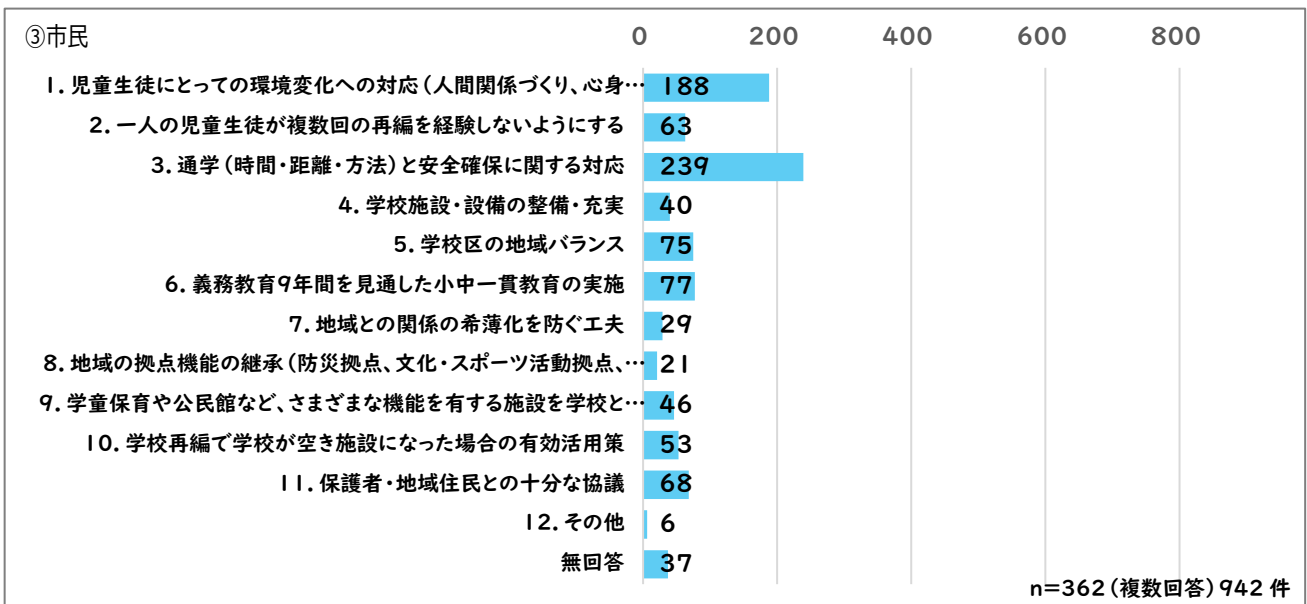
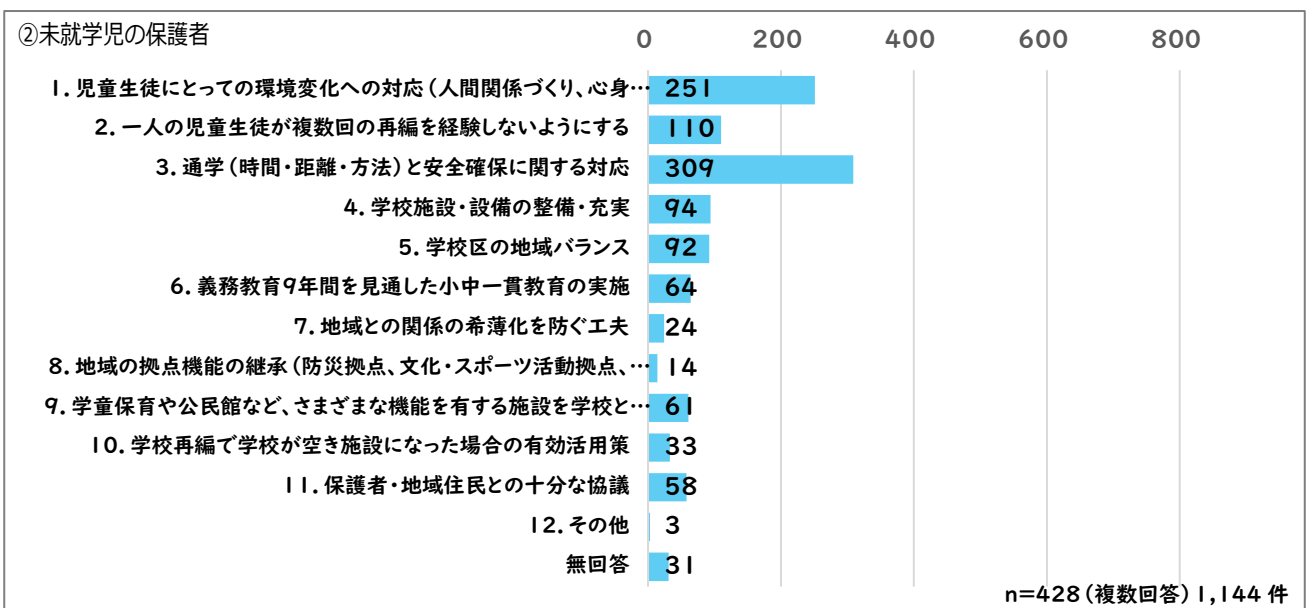
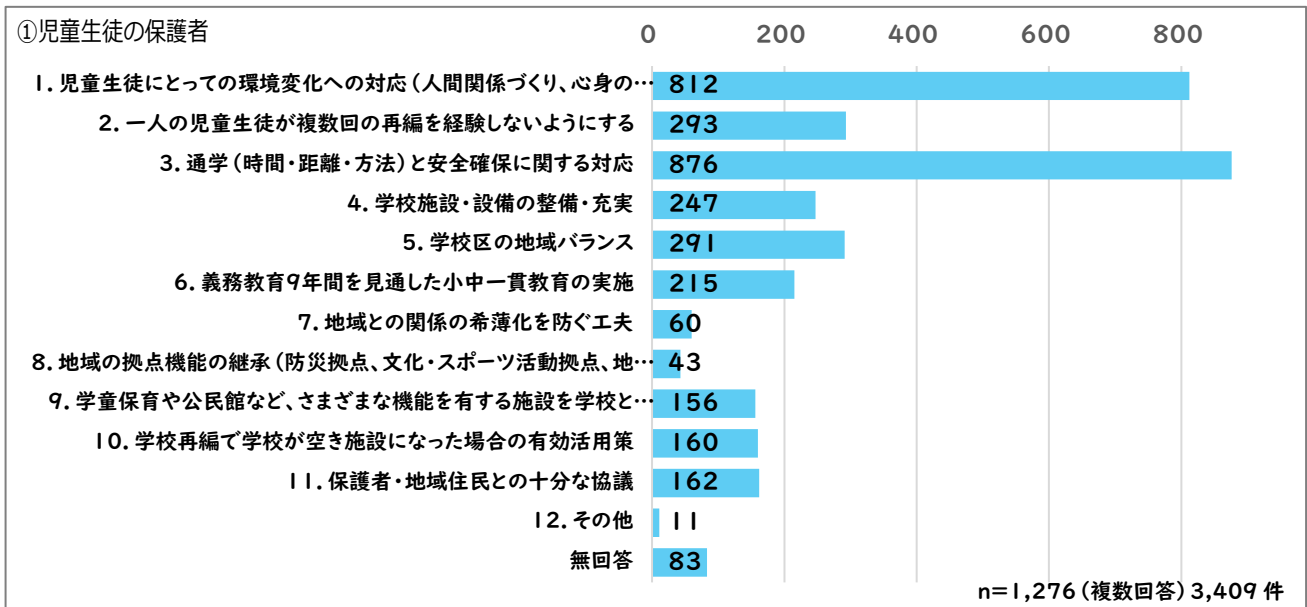
① 全体



【その他】として記載のあった主な意見

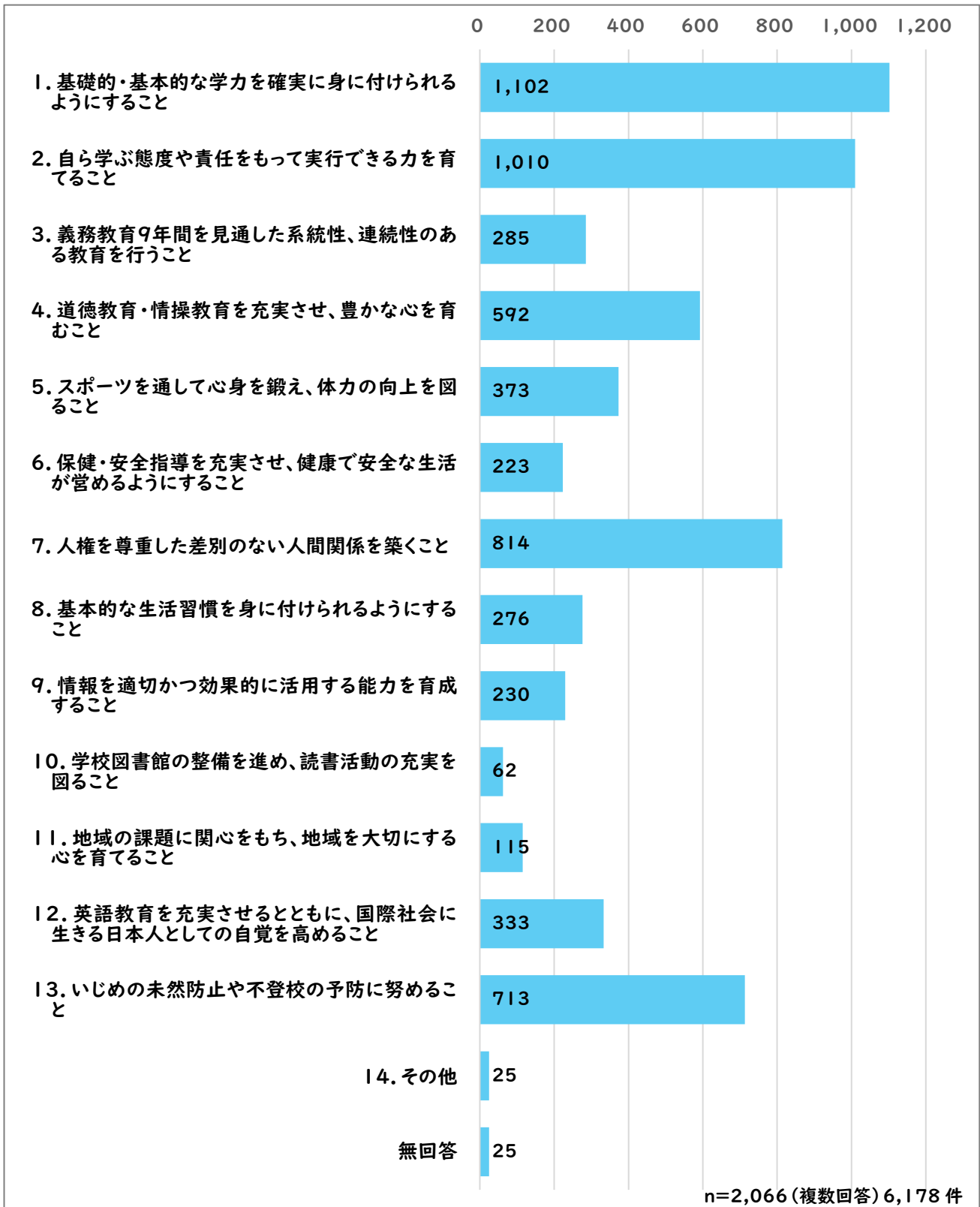
- ・小学校は、やはり地域での活動が好ましい。足利は、中学校で、一部学区外の通学ができるようにしてあるため、地元に残る・学区外に通う・中学を受験するという3つの選択ができるので、親子で選べるのはいいと思う。(児童生徒の保護者：40歳代)
- ・大規模校と小規模校の偏りを改善することで先生達の負担も減るのではないかと思う。(市民：50歳代)
- ・まずは児童生徒の事を第一に考える。全てにおいて。(市民：30歳代)

② 対象別

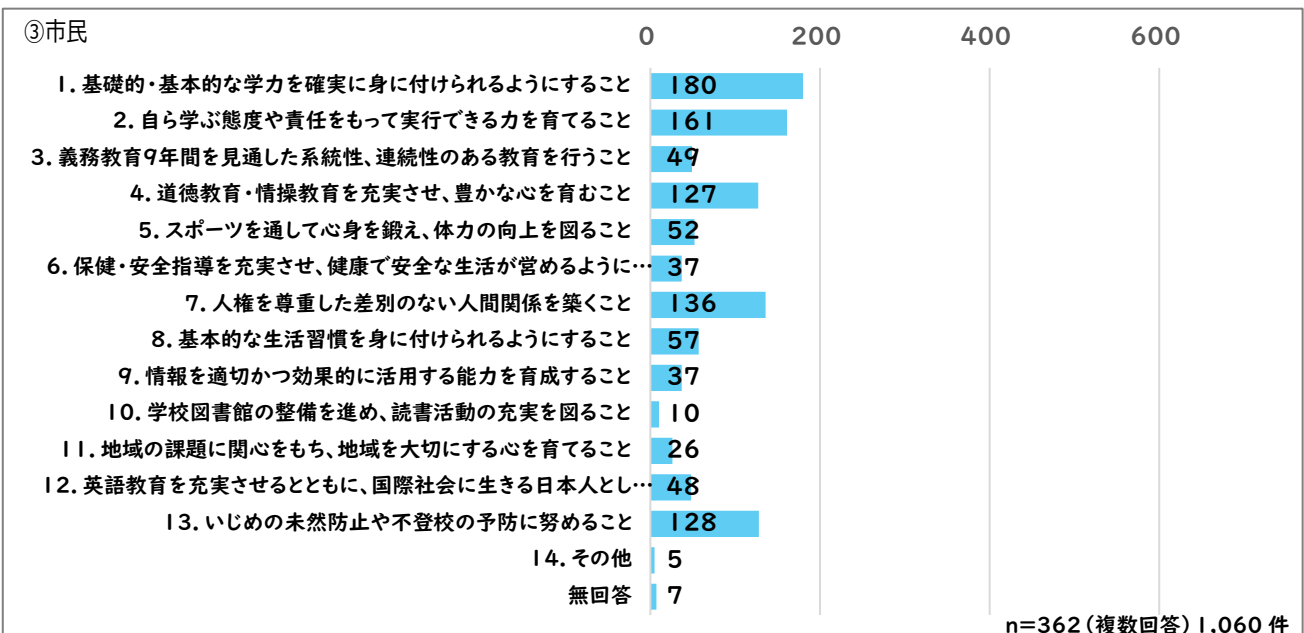
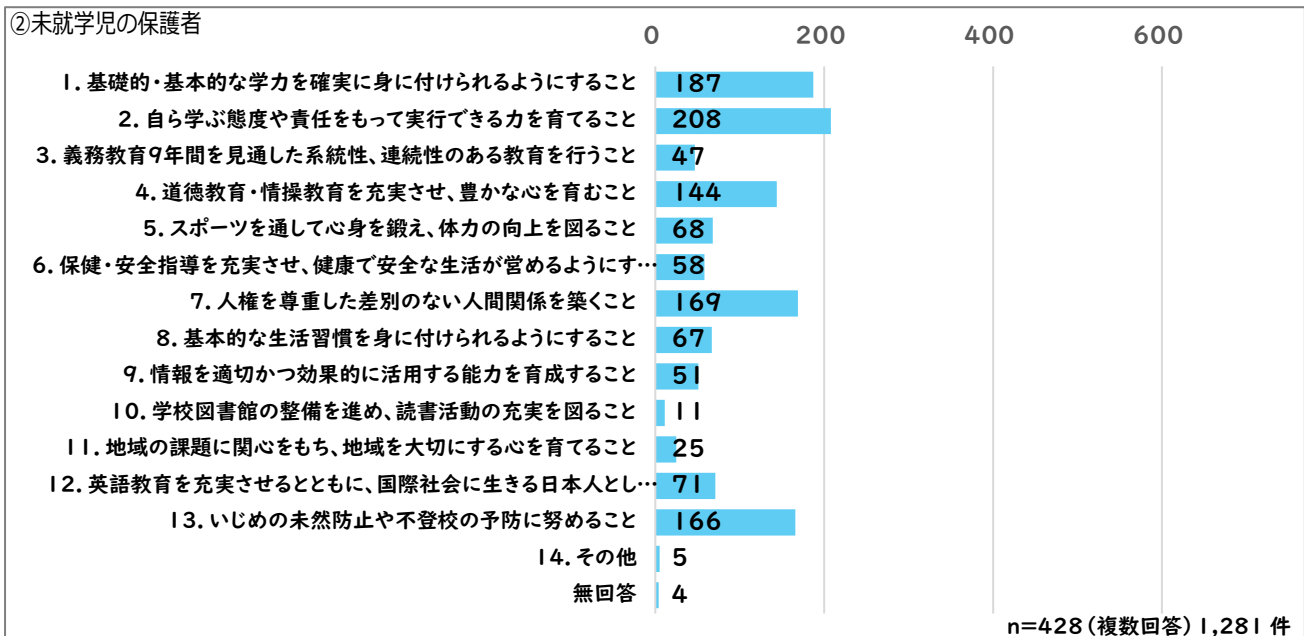
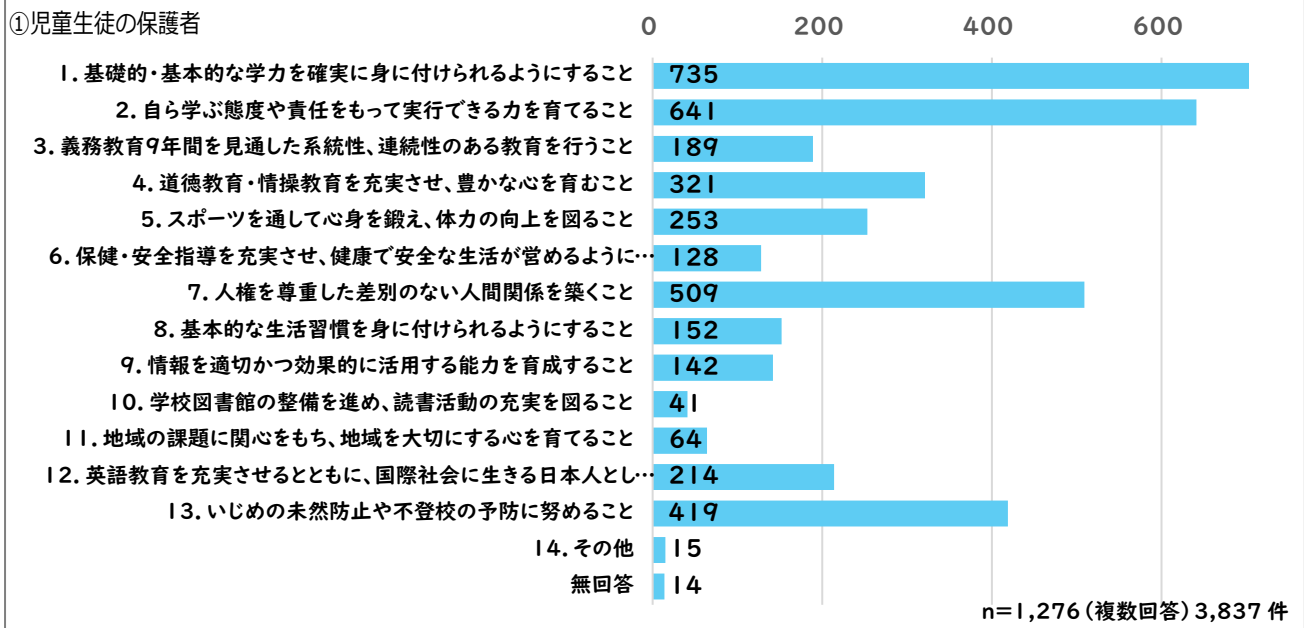


問20 今後の学校教育に期待する教育効果(力を入れてほしいこと・取り組んでほしいこと)について教えてください。(3つまで選択)

① 全体



② 対象別



【その他】として記載のあった主な意見

- ・不登校の生徒に対して、より通いやすい環境を整えること。(児童生徒の保護者：50 歳代)
- ・教員の資質・能力の向上。(ICT活用能力の差、過去のルールの踏襲、変化への拒否、等が目立つため) (児童生徒の保護者：40 歳代)
- ・これからの日本の未来になる子供たちのための教育であることをしっかり考えた教育であってほしいと思います。(児童生徒の保護者：50 歳代)
- ・自ら考え、みんなの前で自分の考えを発表でき、発想力を身に付けられる教育であってほしいです。(児童生徒の保護者：40 歳代)
- ・自己の意見を主張出来る力をつけると同時に他人の意見を尊重し理解する力を育む。計画力、危機回避能力、想像力を養わせること。個性を生かして伸ばすため、その子その子にあった指導。(児童生徒の保護者：50 歳代)
- ・日本は遅れていると言われる性教育(正しい避妊など)を、小学校・中学校と継続しての教育。(児童生徒の保護者：40 歳代)
- ・小規模であれば、地域のボランティア活動などに積極的に参加しやすい。また、シルバー世代の方たちに日常的に学校ともっと関わっていただき、見守りしていただき、昔遊びなどで交流を深めてもらいたい。学校におじいちゃんおばあちゃんの部屋を作り、ほっとできる空間を作ってみてはどうかと思います。(児童生徒の保護者：40 歳代)
- ・コミュニケーションに対する学びを多くし、人の話が聴けて自分の意見を伝えることが出来、違いを認めて共存する手段を模索する考え方を養ってほしい。またお金の勉強をすることは、自分の人生の選択肢を広げることに役立つので、義務教育のうちから身につけて欲しい。(市民：40 歳代)
- ・個性を尊重し、自己肯定感を育てる教育をしてほしい。(児童生徒の保護者：40 歳代)

問11及び問13において、記載のあった「その他」の意見**問11 小学生の通学方法として、どのような方法が適当だと思いますか。(適当と思うものすべてを選択)**

- ・5年生以上は自転車、2年生以下は保護者送迎。(未就学児の保護者：40歳代)
- ・登校班が必要だと思います。(児童生徒の保護者：30歳代)
- ・徒歩の場合は、集団登校が望ましいと思う。(市民：50歳代)
- ・自家用車の有無や、共働きで送迎が難しい家庭もあるだろうし、小学校の高学年であれば自転車で通える等を色々考えると、適当な方法をしぼるのは難しかったです。(市民：40歳代)

問13 中学生の通学方法として、どのような方法が適当だと思いますか。(適当と思うものすべてを選択)

- ・中学生は1Km以上学校から離れていたなら自転車通学にして欲しい。(児童生徒の保護者：50歳代)
- ・徒歩が基本、距離により自転車通学。(市民：70歳代)
- ・スクールバスにおいては、30分以上徒歩でかかる子。(市民：70歳代)
- ・基本徒歩が望ましいと思いますが、30分以上の時は自転車もあり得ると思います。(市民：50歳代)

問2 1 将来の学校教育や学校の在り方などを踏まえ、学校再編について、ご意見があればお書きください。

442人/2,066人の方から寄せられたご意見等の中から主なものを抜粋して記載

<記載順>

1. 学校の適正規模・適正配置等に関して
2. 学校再編に関しての意見
3. 小中一貫教育などに関して
4. 教員の配置に関して
5. 保護者の負担に関して
6. その他学校に望むことなど

1. 学校の適正規模・適正配置等に関して

- ・ある一定数以上の人数の中で学習・生活していくと、色々な人がいる事を感じ、早い段階で自分はこういったタイプの人間なのかということに気付けるような気がします。少人数の良さもあるとは思いますが（比較的もめごとが少ない等）小・中学生時代に多様性の中で生活することで得られるものは大きいと思います。（児童生徒の保護者：40歳代：学校再編を進めるべき）
- ・少人数な学校と多クラスの学校とで、さまざまな環境が違い過ぎると思います。地域によって多少は仕方ないが、ある程度的人数の中で人間関係などを学ぶべきだと思う。（児童生徒の保護者：50歳代：学校再編を進めるべき）
- ・小規模校の良さもあると思いますが、児童生徒数が少なく、クラス替えもなく、人間関係で新たな出会いや発見がなく多様性がないのは、残念に思えます。再編で一校あたりの人数が増えるのであれば、早急に進めることをお願いしたい。
また、校舎などの老朽化が心配されます。再編によって一校あたりに投資できるようになり、施設の老朽化を改善できると思います。（未就学児の保護者：40歳代：学校再編を進めるべき）
- ・集団生活の中での様々な体験ができることが学校教育の良さであると思います。オンラインで学べることもありますが、オンラインで学べない内容のほうが、特に小学生では多いのではないかと思います。そのことから、集団で協力したり、切磋琢磨したりできるように、中規模校程度的人数が学校教育の充実のためには必要ではないかと考えます。（市民無作為：30歳代：学校再編を進めるべき）
- ・少子化が進んでいるので、クラス替え出来ない学校があるのは承知していますが、出来ればクラス替えがある方が良いと思います。人間関係で悩んでいる小学生が、数年クラス替えが出来ないのは酷だと思います。（児童生徒の保護者：30歳代：学校再編を進めるべき）

- ・私を含め、再編を希望している方は大規模校をのぞんでいる訳ではなく、中規模、小学校ならクラスは2クラスとか、せめてクラス替えは経験しておきたい、とかそういった意味での一般的な学校生活が成り立つ位の人数が欲しいという考えではないかなと思います。小規模校の子はのびのびと優しい子が多いと聞きますが、クラス替えの経験もなく人間関係が固定化するからか、中学に進学すると不登校が多いとも聞きます。大人数になる環境の変化に馴染めないのかもしれませんが。(児童生徒の保護者：40歳代：学校再編を進めるべき)
- ・1 学級の人数を減らし、担任の先生に一人ひとりをよく見ていただき、クラス全体で事故やいじめ、トラブルが起こらないようにしていただきたい。また、一人ひとりの学習をきめ細く見ていただきたい。(できる子、できない子、それぞれの能力に合った学習指導)(児童生徒の保護者：40歳代：再編しない方がよい)
- ・1 クラスの人数を少なくして、きめ細やかな関わりをしてもらいたいです。表現する力も含めて、学力の保証を足利市のどの学校でも期待できるようにしてほしいです。安心して公立中学校へ進学させたいと思えるような学校になるといいです。学級数は多く、人数は少なく、が希望です。小規模校の良さは大規模校に子どもを通わせている親としては、羨ましいところも多いです。(市民無作為：50歳代：学校再編は進めるべきではない)
- ・足利市は学校の人数も極端に違いすぎて、平均がないと思います。遠足や運動会や宿泊も学校ごとに違い、子供たちにとって、不公平感ばかりを感じていて不憫に思いました。行事に対する考え方や過ごし方、市内で足並みを揃えていただけるとありがたいです。(児童生徒の保護者：40歳代：再編した方がよい)
- ・学区にとらわれずに、学校までの距離などを考慮したうえで、柔軟に学校の選択が出来るとう良いな思いました。(児童生徒の保護者：50歳代：再編した方がよい)
- ・各々学校ごとに特徴を出し、学区の垣根を越えて、「その学校に行きたい」と思える学校を作り、保護者や生徒の選択肢を増やしても良いと思います。(児童生徒の保護者：40歳代：わからない)

2. 学校再編に関しての意見

- ・学区が広がることで、登下校中の安全が守られるかという点が1番心配です。現在でも遠くから通っている子は猛暑日など保護者の送迎が必要な場合が多いので、学校再編後に住む場所によって負担の増える家庭がないよう、スクールバスの運行なども検討して頂きたいです。また、先生方にとっては20人前後が余裕を持ってみられる人数ではないでしょうか。先生方の心の余裕、時間の余裕がより良い教育を生む土台になると思いますので、再編ありきではなく足利の学校教育がより良くなるよう考える機会になることを祈っています。(児童生徒の保護者：40歳代：再編しない方がよい)
- ・中学生は、自転車登校ができれば、多少距離のある学校も選択できるのかなと思いました。

また、教科書は持ち帰りなので子どもの肩の負担が大きく、(時々肩が痛いと言っている) 自転車登校できれば、肩への負担も減らすことができ、嬉しいです。(児童生徒の保護者：30歳代：再編した方がよい)

- 子供が少なく、徒歩の距離が長くなることが不安です。一定の距離が離れたところに住んでいる子供に対し、スクールバスなど安全に通学できる事を希望します。(未就学児の保護者：30歳代：再編しない方がよい)
- 自宅と学校の距離があまり広がることには心配があります。(見守り活動など) 地域の子供がいないお宅の理解や協力も大切だと思っているので、それも同時に進めて欲しいです。(児童生徒の保護者：40歳代：わからない)
- 低学年の子供が、ランドセルを背負い遠距離通学する事は交通の観点からも心配です。通学路に信号が少なく、近い距離の学校へ通学できるように地域の編成をして頂けると有難いです。それが出来ない場合には、スクールバス等の利用が出来るようになれば安心です。(市民無作為：60歳代：わからない)
- 未来を担う子供の意見を十分に尊重して決めていって欲しい。(未就学児の保護者：20歳代：再編しない方がよい)
- 学校の現状を十分に把握できるよう、学校関係者(現職の教員等)の意見も尊重しながら行ってほしい。(市民無作為：50歳代：再編を進めるべき)
- アンケートだけではよく分からないので小学校、中学校ごとに説明会、意見交換会を行なっていただきたい。決まってからでは意見も出来ませんので親として参加させて下さい。(児童生徒の保護者：30歳代：再編した方がよい)
- 学校再編の議論は、PTA等の生徒がいる保護者の皆さんと、学校がある地域との議論も重要と考えます。通学路の問題や子どもの見守り等大切な事が沢山ありますから。(市民無作為：60歳代：学校再編は進めるべきではない)
- 地域に学校が無くなるということは、その地域が衰退することになります。若い人は住まなくなり高齢者だけの地域となります。そのところをふまえて、学校再編を考えていただけたらと思います。再編を前提にしたものでは無いようにお願いします。(市民無作為：60歳代：再編しない方がよい)
- 少子化であるので再編は致したかない動きかもしれません。だからといって無闇に再編を進めて行くことは違います。近隣に小中学校があるというのは何かがあった時に安心ですし、学校がないとなるとその地域の拠点がなくなるような心地がいたします。児童生徒が心穏やかに楽しく子ども時代を過ごせるような環境を整えていって欲しいです。将来の納税者なのでありますから。(市民無作為：30歳代：学校再編は進めるべきではない)

- ・そもそも子供が減ったから、増えたからではなく足利市としてどうすれば人口が増えるのか？子育てしやすい市にするためにやるべき事を考えるべきだと思う。(未就学児の保護者：40歳代：学校再編は進めるべきではない)
- ・少子化に伴い児童生徒が大幅に減少しているため、小中学校の再編を早急に進めてほしい。施設の老朽化も進み、施設の安全面でもとても不安である。学校数を減らして、一学校あたりの施設整備等にお金を使っていたきたい。(未就学児の保護者：30歳代：学校再編を進めるべき)

3. 小中一貫教育などに関して

- ・学校と地域が連携するというより、学校が地域の中心となり、拠点になる必要がある。「学力」は大事だが、もっと大事なのは「学力の身に付け方」と「意識」であり、社会性、人権意識、感情のコントロール等と合わせて、「9年単位」で見通していけると良い。小中学校はなるべく統合した方が良い。教育的メリットも多い上、コストの大幅な効率化が図れるため。持続可能な学校運営とはそういうことかと思えます。(未就学児の保護者：40歳代：学校再編を進めるべき)
- ・いま各地で採用され始めた「小中9年間一貫教育」は疑問に感じています。もちろん、小中の学習内容を連係させるのは大賛成です。しかし、同じ敷地、同じ校舎、同じ顔ぶれで9年間を過ごす事には、人間関係の不安を感じてしまいます。それはいわゆる「シャッフル」がないからです。小学から中学になり、校舎も顔ぶれも変わるその時が、悪い人間関係をリフレッシュする絶好の機会だと思えます。(未就学児の保護者：40歳代：再編した方がよい)

4. 教員の配置に関して

- ・教師、学校職員を増やし、多様な子どもにも対応できる学校であってほしいです。(児童生徒の保護者：40歳代：わからない)
- ・子供の教育や課外活動に関して、質を高めるためにも、教員の人員配置も含めて、人数強化が必要だと思う。子供と接する時間に力を注げるよう、事務的なもの、例えばプリント印刷等、デジタル化できるものを積極的に取り入れていけるといいのではないかな？また、安全面(不審者の侵入等)が起きた時の対応もしっかりできるよう、学校再編にともない、教員だけでなく、サポート人員も必要だと思う。(未就学児の保護者：40歳代：学校再編を進めるべき)
- ・個に応じた対応をするために、学級の人数を減らす、もしくは担任を2人以上にすべき。昨今の教員の長時間労働対策のためにも必要であると感じている。他市では市の独自の予算を出し、理科や音楽、体育などの教科に専科教員を配置して、担任の業務時間を捻出しています。足利市でも検討していただけたらと思います。(未就学児の保護者：40歳代：学校再編は進めるべきではない)

- ・学校再編により、子どもがのびのびと学べる環境となり、集団の中で多様な考えに触れることができると思います。学校が統合する事で教員も増えるので、結果より良い指導につながると考えますので、是非進めて頂きたいです。(未就学児の保護者：30歳代：学校再編を進めるべき)
- ・教員、特に担任を持っている教員の業務内容を見直すべき。保護者と学校との繋がりや担任によるところが大きいので、担任教員についてはクラスの生徒に対する細やかな対応を求めたい。代表的なことである部活動については、基本的に担任を持たない教員や地域人材を活用するなど、教員が顧問として活動している現状は変えるべき。(児童生徒の保護者：40歳代：学校再編を進めるべき)
- ・先生の働き方、負担を少なくし、学校職員にこだわらず、多方面な方々を活用する。先生方を教育する立場の方が身近にいと、先生方も現場の問題をタイムリーに相談できる仕組みが必要だと思います。先生方もさまざまな経験を積んで成長していくと思います。先生方が、心穏やかに生徒と関わっていける環境が大切だと思います。(児童生徒の保護者：50歳代：学校再編を進めるべき)

5. 保護者の負担に関して

- ・多くの世帯が共働きで働いている現状を踏まえ、学校内での学童保育の設置(外部を利用などはもちろん自由に選択可)など放課後を親も子も安心して過ごし、預けることができる環境づくりをしてほしい。足利市は遅れているように感じる。祖父母が近隣にいるからと言って預けることが可能な世帯ばかりではない現状を理解し取り組んで頂きたい。(未就学児の保護者：30歳代：再編しない方がよい)
- ・再編などで学校が統合される場合には、スクールバスの運用など、登下校、送迎の面で、親の仕事に影響の出ないよう配慮をお願いしたい。(児童生徒の保護者：30歳代：わからない)
- ・今小規模校なので親のPTAの負担が大きいです。子ども同士の人間関係も考えると、もう少し人数がいて、多様な考えに触れられるといいなと思います。(未就学児の保護者：40歳代：再編したほうがよい)
- ・PTA役員など保護者の負担が大きい。人数は減ってきているのに役員的人数が変わらないので、役員が何回も回ってきてしまう。現在、仕事をしている人も増えているので保護者に負担が大きい。(未就学児の保護者：30歳代：再編した方がよい)

6. その他学校に望むことなど

- ・部活動においても今では外部の人間が介入して行っていたりしますが、生徒が少ないと部活の種類も減ります。スポーツを通して人間関係を構築し切磋琢磨して勉強以外の事をたくさん学べられたら良いのかなと思います。(未就学児の保護者：30歳代：再編した方がよい)

- ・我が子は学区内の中学校での活動が困難になる見込みとの事で（学級減による教員不足の可能性があるので）やむを得ず希望する競技を続けるために私立中学に進学しました。特に競技人口の少ない個人競技などは学校の枠を超えて、足利市内全体のチームとして活動できるようになれば良いと思います。（児童生徒の保護者：50歳代：再編しない方がよい）
- ・部活動の種類限定、指導者の外部委託は早急に見直すべき。先生の負担も大きいでしょう。（児童生徒の保護者：40歳代：わからない）
- ・学校再編をしてもしなくても、いじめや差別のない学校生活で、いきいきと自分らしく、“自分も”日本の将来を担う一任としての心構え、責任を持って何かを成し遂げる様な、子供を育てる（導く）教育をして欲しいです。（児童生徒の保護者：40歳代：再編しない方がよい）
- ・明るく、元気な子供達のいる、いじめのない学校になってほしい。（市民無作為：60歳代：再編しない方がよい）
- ・心に障がいをもつ子、不登校の子どもや親への支援を充実させて欲しい。一人ひとりの子が安心してすごせる楽しく通える学校づくりに期待します。（市民無作為：30歳代：再編した方がよい）
- ・色々な悩みがある子やコロナ禍を経験して、その時に応じ、絶対に登校しなくてはならない、登校するのが当たり前ではなく、オンラインや家庭学習、家庭学習できない子の居場所、などを作って頂けたらと思います。（児童生徒の保護者：30歳代：再編した方がよい）
- ・児童、生徒の多様化が進む中、教師の対応能力、環境の整備が追いついていない。学校によって特別支援学級の扱いにも差がある。通常学級の教師の理解度が低く支援学級の教師が大変そうです。学校再編と共に中身の充実も必ずして欲しい。（児童生徒の保護者：40歳代：再編した方がよい）
- ・発達障がいなど、学校生活に支障を抱えているお子さんがたくさんいて、保護者の方々もご苦労されています。通常クラスでは苦痛な子供が、その子らしく、のびのびと学べる、自尊心を傷つけられない様な環境（理解のある指導者）の整った新しい学校が創設される事を期待しています。（市民無作為：60歳代：再編を進めるべき）
- ・足利市でもICTは進められていますが、まだまだせつかくの機器を活用しきれていないと感じます。もっと民間の力を積極的に活用し（先生方の負担がこれ以上増えることは望みません）、子どもたちが社会環境の変化に応じた、主体的な学びができるよう、新しいやり方、チャレンジも学校現場で積極的に取り入れてほしいです。（児童生徒の保護者：40歳代：再編した方がよい）
- ・英語は勿論、タブレット学習など学習の方法が大きく変わり、情報処理能力や多様性への理解など求められる資質も変わってきています。将来に役立つ学びの場はデジタル化、国

際化の流れに遅れをとらない充実した環境であってほしい。そのためには全体の学校数を減らし集約、集中して整えていかざるを得ないと思います。

魅力ある教育環境は地域を活性化させ、他市、他県からの人の流れも作ります。一番の優先は「子供たちの教育の充実」なので「人口減少を少しでもくい止める」ためにもスピード感をもって進めていただけるようよろしくお願いいたします。(児童生徒の保護者：50歳代：学校再編を進めるべき)

- ・子どもたちの心身の安全（いじめ、健康、通学等）を前提に、自ら考え実行できる力と責任感、他者を思いやる心を育み、多様性を受け入れることのできる人間関係を学び築ける環境を整えてほしいと思います。

また、溢れかえる情報から自分の身を護るための、情報の取捨選択の仕方等も親子共に学び、共通理解ができる機会があるといいなと思います。学校再編については、子どもたち一人ひとりへのきめ細かな見守り・指導ができることが、大前提であって欲しいと願います。(児童生徒の保護者：40歳代：再編しない方がよい)

- ・学力は大切だとは思いますが、道徳や友達とのコミュニケーション、世の中には色々な人がいること、将来に夢を持てるようなことなど、さまざまな角度から物事が見られる、判断できる指導、固定概念に捕らわれない指導が望ましい。私が学生の頃は固定概念だらけだったと思い返しました。(未就学児の保護者：40歳代：再編しない方がよい)

- ・子供達の人数は年々減って来ています。子供達それぞれの能力や学習力に合わせた教育が必要だと思います。もちろん基本はしっかりと身に付けてほしいと思います。これからはグローバルな時代なので、時代に合わせた教育をしてほしいと思います。世界に遅れを取らないような教育を望みます。(市民無作為：60歳代：再編しない方がよい)

小学校5年生の保護者用を掲載

(他に中学校2年生、未就学児の保護者、市民用がありますが、設問は同じ)

足利市立小・中学校の再編に関する市民アンケート調査 — ご回答のお願い —

市教育委員会では、小・中学校の児童生徒たちが様々な社会変化を乗り越え、人生を切り拓き、社会の創り手となれるよう、目指すべき子ども像、そのための求められる学校像を教育理念として決めました。

【目指すべき子ども像】 自ら学び 心豊かに たくましく生きる 足利っ子

【求められる学校像】 自分のよさや持ち味を 存分に発揮できる学校

この実現のためには、児童生徒が学校という集団の中で、多くのことを学び、経験することが大切であり、将来にわたって学びやすい教育環境が必要です。

現在、有識者で構成する足利市学校教育環境審議会を設置し、小・中学校の教育環境の在り方について検討を進めており、検討事項の1つである学校再編などについて、皆様のお考えを参考とさせていただくため、今回、アンケートを実施することとしました。

皆様には、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年9月

足利市教育委員会

ご回答・ご返送にあたって

◎ このアンケートは、小学校5年生の保護者の方にお送りしています。

インターネットで回答する場合

〈方法1〉 スマートフォンなどの端末により、右の二次元コードをお読み取りいただき、本紙アンケートを参考にしながら、Web上のアンケートにご回答ください。



〈方法2〉 下記アドレスにアクセスし、本紙アンケートを参考にしながら、Web上のアンケートにご回答ください。

www.city.ashikaga.tochigi.jp/ques/questionnaire.php?openid=200

※インターネットでご回答いただいた場合、「回答票」の提出は不要です。

インターネットで回答できない場合

「回答票」にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、学級担任の先生にお渡しください。

アンケート回答期限

令和4年9月14日(水)まで

【お問い合わせ先】 足利市教育委員会事務局 教育総務課 TEL0284-20-2216

参考資料（2～3ページ）をご一読のうえ、アンケート（4ページ以降）にお答えください。

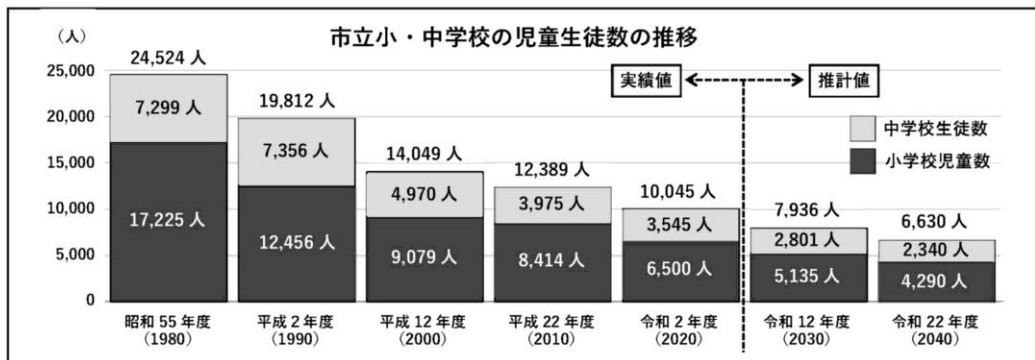
参 考 資 料

「市立小・中学校の小規模化の現状」について

日本の総人口は減少局面を迎えており、小・中学校の児童生徒数も減少しています。本市においても同様の傾向であり、学校規模の小規模化が進んでいます。一方、将来にわたって、児童生徒が学びやすい教育環境を確保していくためには、一定規模以上の学校規模が望ましいとされています。

1 市内の児童生徒数は大きく減少しています

市内の児童生徒数は、平成12年度から令和2年度の20年間で28.5%（4,004人）減少し、今後、令和22年度までの20年間で、さらに34.0%（3,415人）の減少が見込まれています。



※令和12(2030)年度以降に関する数値は、令和2(2020)年度の実績を基に、国立社会保障・人口問題研究所による各年度の年少人口から減少率を算出し、推計しています。

2 学校規模ごとの期待される点・課題とされる点

学校規模ごとの期待される点と課題とされる点は、一般的に以下のように指摘されています。

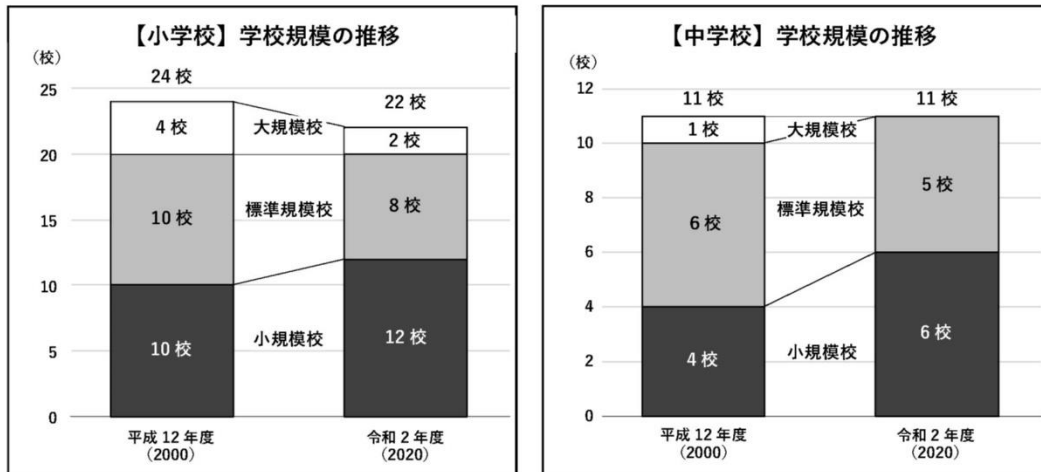
学校規模	期待される点	課題とされる点
小規模校	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係などが深まりやすい。 ・一人ひとりにきめ細かな指導が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係などが固定化しされやすい。 ・クラス替えができない場合がある。 ・部活動などの設置が限定される。
大規模校	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習・指導形態をとりやすい。 ・社会性や協調性、たくましさなどを育みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの状況を把握しにくい。 ・学校の施設・設備の利用に制約が生じる場合がある。

※中央教育審議会の初等中等教育分科会「小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会資料」を参考に作成しています。

※学校教育法施行規則では、小・中学校の標準規模は、1校あたりの学級数が「12～18学級」とされており、それを超える学校を大規模校、それ未満の学校を小規模校としています。

3 市内の小・中学校は半数以上が「小規模校」です

市内の小・中学校は、「大規模校」や「標準規模校」が減少する一方で「小規模校」が増加し、半数以上が「小規模校」となっています。

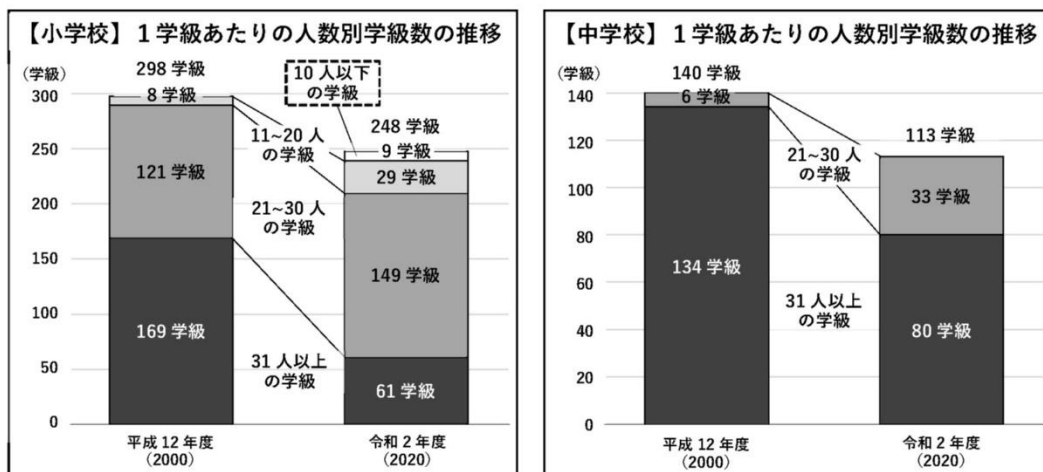


※平成12(2000)年度は40人学級、令和2(2020)年度は35人学級による学級編制をしています。

4 市内の小・中学校は「学級数」や

「1学級あたりの児童生徒数」も減少しています

児童生徒数の減少に伴い「学校の小規模化」が進むとともに、学級数や1学級あたりの児童生徒数の減少も進んでいます。小学校においては、10人以下の学級も3.6%(9学級)ある状況です。



次のページから、学校再編に伴う学校の在り方などについて、皆様のお考えをお聞きます。

回答所要時間：15分程度

【あなた自身のことについてお聞きします】

問1 あなたの年齢について教えてください。 **1つを選択**

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代
7. 70歳代 8. 80歳以上

問2 あなたの職業について教えてください。 **1つを選択**

1. 自営業、事業主（農林業含む） 2. 会社員、公務員など 3. パート、内職、アルバイト
4. 主に家事や育児をしている 5. 学生 6. 無職
7. その他

問3 あなたがお住まいの小学校区を教えてください。 **1つを選択**

1. けやき小 2. 青葉小 3. 東山小 4. 桜小 5. 毛野小
6. 毛野南小 7. 山辺小 8. 南小 9. 三重小 10. 山前小
11. 北郷小 12. 大月小 13. 名草小 14. 富田小 15. 矢場川小
16. 梁田小 17. 久野小 18. 筑波小 19. 御厨小 20. 坂西北小
21. 葉鹿小 22. 小俣小 23. わからない 24. 該当なし

問4 あなたの同居する家族について教えてください。 **あてはまるものすべてを選択**

1. 未就学児がいる 2. 小学生がいる 3. 中学生がいる 4. 高校生がいる
5. あてはまるものはない

問5 近年、あなたのお住まいの学校区の小学校や中学校と、どのような目的でかかわりましたか。

あてはまるものすべてを選択

1. 学校の行事 2. 子どもなどの送迎
3. PTAなど保護者としての活動 4. 通学路の見守りやボランティア活動
5. 地区運動会 6. 地域の会合や行事（地区運動会以外）
7. 体育館や校庭を利用した運動 8. 避難訓練や実際に体育館などに避難
9. 選挙 10. かかわっていない
11. その他（ ）

小・中学校の再編に向けた動き

全国的な傾向として、少子化の影響により児童生徒数が減少し、小・中学校の小規模化が進んでいます。このような中、教育環境を整えるため、学校規模を標準規模^{注)}に再編（学区の見直し・学校の統合など）する検討を進めている自治体もあります。

本市においても児童生徒数が減少していることから、小・中学校の再編に向けた学校の在り方などについて、検討を始めたところです。

【小・中学校の望ましい学校規模についてお聞きします】

問6 小学校児童のよりよい教育環境のために、小学校では、1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。

1. 複式学級* 2. 1学級 3. 2～3学級 4. 4～5学級 5. 6学級以上

※複式学級：複数の学年を1学年に編制した学級のこと

問7 小学校では、1学級あたりの人数はどの程度が望ましいと思いますか。

1. 10人以下 2. 11～15人 3. 16～20人 4. 21～25人 5. 26～30人
6. 31～35人

参考) 栃木県では、小・中学校とも35人学級としており、児童生徒が35人を超えると2学級の編制となります。

問8 中学校生徒のよりよい教育環境のために、中学校では、1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。

1. 1学級 2. 2～3学級 3. 4～6学級 4. 7学級以上

参考) 栃木県では、中学校は複式学級を編制しないこととしています。

問9 中学校では、1学級あたりの人数はどの程度が望ましいと思いますか。

1. 10人以下 2. 11～15人 3. 16～20人 4. 21～25人 5. 26～30人
6. 31～35人

【 小規模校と小・中学校の再編についてお聞きします 】

小規模校について

小規模校には、個別指導が行いやすいなどの利点もある一方で、集団生活に制約が生じたり、クラス替えができない、部活動が限定されるなど、児童生徒の教育環境への影響があるとされています。

問 | 4 小規模校の「よさ」について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。 3つまで

選択

1. 一人ひとりにきめ細かな指導が行いやすい
2. 意見や感想を発表できる機会が多くなる
3. 様々な活動などにおいて、一人ひとりが役割を務める機会が多くなる
4. 体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができるなど、学校が一体となって活動しやすい
5. 上級生・下級生間の縦の交流が生まれやすい
6. 児童生徒相互の人間関係が深まりやすい
7. 児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる
8. 教材・教具や運動場・体育館・特別教室などの施設が余裕をもって使える
9. 保護者や地域の協力が得やすく、保護者や地域と連携した効果的な指導ができる
10. その他 ()

問 | 5 小規模校の「課題」について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。 3つまで

選択

1. 子ども同士が切磋琢磨する教育活動ができない
2. 習熟度別・少人数指導*など、クラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい
3. クラブ活動や部活動の種類が限定される
4. 運動会・文化祭・修学旅行などの集団活動・行事の教育効果が上がりにくい
5. 班活動やグループ分け、協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
6. 一人の児童生徒のクラスに与える影響が大きくなる
7. 多様な考えに触れる機会が少なくなる
8. クラス替えが全部、または一部の学年でできないため、人間関係が固定化しやすい
9. PTA活動などにおける保護者の負担が大きくなりやすい
10. その他 ()

※習熟度別・少人数指導：学習の習熟度に応じて、少人数による指導や個別指導を行う授業形態・方法のこと

市全体の学校再編について

小・中学校には、児童生徒の能力を伸ばし、社会的自立や社会の一員としての基本的資質を養うという役割があり、学校という集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、多くのことを学び、経験することが大切です。

そのためには、将来の子どもたちが学びやすい教育環境を確保していくことが必要であり、一定規模以上の学校規模が望ましいとされています。

問16 一定規模以上の学校規模を確保するための小・中学校の再編について、今後、どのようにしていくことが望ましいと思いますか。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 学校再編を進めるべき | <input type="text" value="→ 問17へお進みください。"/> |
| 2. どちらかと言えば、学校再編をした方がよい | <input type="text" value="→ 問17へお進みください。"/> |
| 3. どちらかと言えば、学校再編はしない方がよい | <input type="text" value="→ 問18へお進みください。"/> |
| 4. 学校再編は進めるべきではない | <input type="text" value="→ 問18へお進みください。"/> |
| 5. わからない | <input type="text" value="→ 問19へお進みください。"/> |

次の質問は、問16で「1」または「2」を選択した方にお聞きします。

問17 問16で「1. 学校再編を進めるべき」、または「2. どちらかと言えば、学校再編をした方がよい」を選択した理由として、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。

1. 学習環境の改善（教職員が増える、多様な指導形態や学校運営体制の改善が図れるなど）
2. 部活動・学校行事の充実（部活動の種類が増える、集団活動などの教育効果が上がるなど）
3. 人間関係の構築（クラス替えができる、多様な考えに触れることで社会性が育まれるなど）
4. 学校施設・設備の整備・充実（教育予算の集中投資が可能になるなど）
5. PTA活動などの環境改善（活動の充実が図れる、保護者の負担が軽減されるなど）
6. 少子化のためやむを得ない
7. その他（ ）

次の質問は、問16で「3」または「4」を選択した方にお聞きします。

問18 問16で「3. どちらかと言えば、学校再編はしない方がよい」、または「4. 学校再編は進めるべきではない」を選択した理由として、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。

2つまで選択

1. 学習環境の変化（きめ細かな指導ができなくなる、個々の活躍の機会が減るなど）
2. 通学時間・通学方法の変化（通学距離が長くなる、通学路の安全が心配など）
3. 児童生徒への負担（新たな人間関係による心身の負担が増えるなど）
4. 伝統・地域性（地域の学校や母校がなくなる、地域の子どもは地域で育てたいなど）
5. 地域の過疎化（学校がなくなることで居住者が減るなど）
6. 地域拠点の消失（PTA活動や自治会活動、防災などの拠点がなくなるなど）
7. その他（

→ 問19へお進みください。

問19 学校再編を検討する場合、どのような点に配慮すべきと思いますか。

3つまで選択

1. 児童生徒にとっての環境変化への対応（人間関係づくり、心身の負担軽減）
2. 一人の児童生徒が複数回の再編を経験しないようにする
3. 通学（時間・距離・方法）と安全確保に関する対応
4. 学校施設・設備の整備・充実
5. 学校区の地域バランス
6. 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の実施
7. 地域との関係の希薄化を防ぐ工夫
8. 地域の拠点機能の継承（防災拠点、文化・スポーツ活動拠点、地域交流拠点など）
9. 学童保育や公民館など、さまざまな機能を有する施設を学校と一体的に整備（施設の複合化）
10. 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策
11. 保護者・地域住民との十分な協議
12. その他（

【 今後の学校教育についてお聞きします 】

問20 今後の学校教育に期待する教育効果（力を入れてほしいこと・取り組んでほしいこと）について教えてください。 **3つまで選択**

1. 基礎的・基本的な学力を確実に身に付けられるようにすること
2. 自ら学ぶ態度や責任をもって実行できる力を育てること
3. 義務教育9年間を見通した系統性、連続性のある教育を行うこと
4. 道徳教育・情操教育を充実させ、豊かな心を育むこと
5. スポーツを通して心身を鍛え、体力の向上を図ること
6. 保健・安全指導を充実させ、健康で安全な生活が営めるようにすること
7. 人権を尊重した差別のない人間関係を築くこと
8. 基本的な生活習慣を身に付けられるようにすること
9. 情報を適切かつ効果的に活用する能力を育成すること
10. 学校図書館の整備を進め、読書活動の充実を図ること
11. 地域の課題に関心を持ち、地域を大切にすることを育てること
12. 英語教育を充実させるとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めること
13. いじめの未然防止や不登校の予防に努めること
14. その他（）

問21 将来の学校教育や学校の在り方などを踏まえ、学校再編について、ご意見があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。

